

FIRE REPORT 2024



福岡県
宗像地区消防本部

Firereport2024 は、宗像地区消防本部の消防現勢及び2023年中の消防統計などを、広く紹介するために収録したものです。

なお、このFirereport2024 の統計資料は原則として暦年をもって表していますが、予算その他との関係から会計年度で収録したものもあります。

令和6年8月

一目でわかる宗像消防

人 口	面 積	世 帯 数
165,535人	172.7km ²	75,083世帯
署 所	消防職員	平均年齢(消防職員)
2署2出張所 1分遣所	143人 うち女性職員4人 (再任用職員除く)	39.4歳月
防火対象物	危険物施設	消 防 水 利
3,961棟	166施設	消火栓 1,745基 防火水槽 698基
出 火 件 数	救急出動件数	消 防 団 員
44件	7,527件	996人

目 次



むなかたの消防

管内の概要	1
地域紹介	2
消防本部(署)の配置現況	4
組合・消防本部沿革	6
組合の組織	14
消防本部・消防署の組織	15
消防本部の事務分掌	17
消防署の事務分掌	19
消防相互応援協定の状況	21
消防本部の主なできごと	22

総 務

職員の階級別定員および実員	25
職員の階級別任用、退職状況	25
職員の配置状況	25
職員の階級別年齢	26
職員の階級別勤続年数	27
職員の資格(講習)取得状況	28
職員の研修状況	29
消防大学校の教育状況	30
職員の表彰受賞状況	30
訓練・指導等の実施状況	31
職員の教養実施状況	31
消防力の状況	32
面積・人口および世帯数に対する 常備消防力	33
消防団の現況	33

財政の状況	34
過去3年間ににおける消防負担金状況	34
令和6年度宗像地区事務組合 一般会計当初予算	35
令和4年度消防費決算額と 一般会計決算額との比較	35
令和4年度消防費決算と 消防費基準財政需要額	36

予 防

防火対象物の現状	37
消防用設備等の設置状況	38
防火管理者を必要とする事業所の状況	39
防火対象物の予防査察状況	40
建築同意事務処理状況	41
中高層建築物(5階以上)の現状	42
工事整備対象設備等着工届事務処理状況	
法令に基づく届出処理状況	43
危険物施設の現況	44
危険物施設立入検査実施状況	44
危険物規制事務処理状況	45
宗像地区防災協会	46
宗像地区幼少年婦人防火委員会	47
防火団体構成表	48

車両・資器材等

現有車両の諸性能	49
消防車両等の配置状況	51
救助資機材の配置状況	53
消防水利の現況	53
救急資器材の配置状況	55

火 災

令和5年中の火災概況	56
火災の状況	57
火災種別件数	58
火災種別損害額	58
市別出火件数	59
市別損害額	59
宗像市内の火災状況	60
福津市内の火災状況	61
月別出火件数及び損害状況	62
過去10年間の出火件数の推移	63
原因別出火件数	64
過去10年間の主な出火原因の推移	64
建物用途別出火件数	65
建物火災の出火原因	65
覚知別出火件数	66
曜日別出火概況	66
時間別出火概況	67
気象別出火件数	68
月別・市別出動車両・出動人員	69

救 急

令和5年中の救急概況	70
過去10年間の救急出動件数及び人口の推移	71
過去10年間の3大事故種別（急病・交通事故・一般負傷）の出動件数の推移	72
管内総括表	73
市別総括表	74
救急自動車による現場到着所要時間別出動件数の状況	75
医療機関収容所要時間	76
曜日別出動件数	77
時間別出動件数	78
傷病程度別搬送人員	79

年齢別搬送人員	80
救急隊員が行った応急処置等の状況	81
急病にかかる疾病分類別搬送人員	82
応急手当普及啓発活動状況	83
消防隊による救急活動状況	84

救 助

令和5年中の救助概況	85
管内総括表	86
主な救助活動	86
市別救助出動件数	87
月別救助出動件数	87

通 信 指 令

過去10年の119番通報件数	88
----------------	----

消 防 団

消防団の活動	89
消防団の組織	90
福岡県消防協会	
宗像地区連絡協議会の組織	92
消防団の定員および実員	92
消防団の出動状況	92
消防ポンプ車等の装備状況	92

宗像地区は、福岡県北部に位置し、福岡市と北九州市という2つの政令指定都市の中間にあるという立地の良さと、東西に横断するJR鹿児島本線や国道3号線および国道495号線により二大都市への交通アクセスが充実し、住宅団地や大学、大型商業施設などが相次いで進出しました。これに伴い、急激な都市化が進み、生活環境や都市基盤が整備され、教育や文化、子育て支援などが充実し、人口も増加してきました。人口減少時代に突入している現在においても、人口を維持し続けています。



宗像市日の里から玄界灘を望む

また、北東には四塚の峰が連なり、西は玄界灘に面し、白砂青松の地は玄海国定公園の一角をなしており、古墳や住居跡が点在し、玄界灘を中心に活躍した「宗像海人賊」によってさまざまな大陸文化がもたらされ、宗像大社、鎮国寺、宮地嶽神社をはじめとする国宝や重要文化財にも指定された神社、仏閣等も点在し、「古事記」や「万葉集」にも地名がみられるなど、古から栄えたことを物語っています。

さらに、福岡県と宗像市、福津市は協力して「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議を設置して、世界遺産登録に向けて官民一体となった取り組みを推進し、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産登録の国内候補に選ばれ、平成28年1月28日に正式版推薦をフランス・パリのユネスコ世界遺産センターに提出し、受理されました。平成29年5月6日に、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群について、イコモス(国際記念物遺跡会議)より、「記載」が適当(ただし、宗像大社沖津宮遙拝所、宗像大社中津宮、宗像大社辺津宮、新原・奴山古墳群を除く)との勧告がなされました。さらに7月9日には、ユネスコの世界遺産委員会により、イコモスによって除外された残りの構成資産も世界文化遺産に登録されました。

管内の面積・人口および世帯数

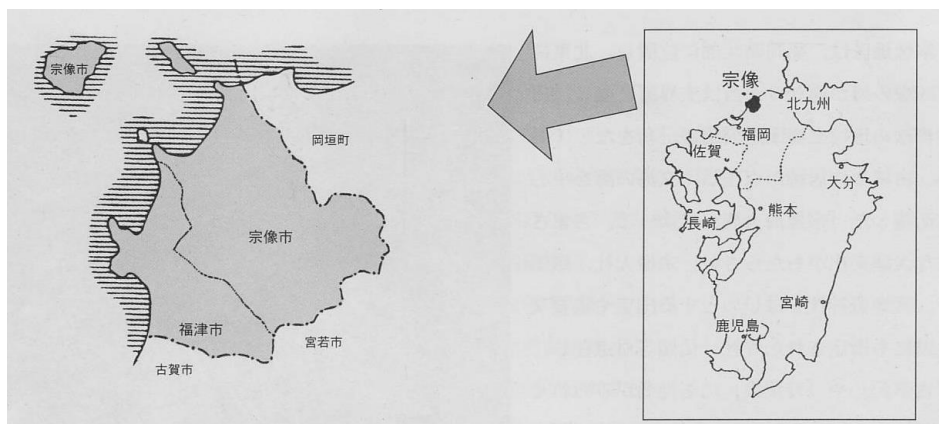
(令和5年12月31日)

構 成 市	面 積(km ²)	人 口(人)	世帯数(世帯)
宗 像 市	119.94	97,045	44,774
福 津 市	52.76	68,778	30,044
合 計	172.7	165,823	74,818

※市町村合併の状況

平成15年4月1日宗像市と旧玄海町が合併。新「宗像市」となる。
 平成17年1月24日旧福岡町と旧津屋崎町が合併。「福津市」となる。
 平成17年3月28日旧大島村が宗像市へ編入合併。現在の「宗像市」となる。

地域紹介



宗像市 MUNAKATA

- 人口 / 97,045人
- 世帯数 / 44,774世帯
- 面積 / 119.94km²
- 「ときを紡ぎ 躍動するまち」



海上神幸「みあれ祭」

◆宗像市のプロフィール◆

福北大都市圏のほぼ真ん中に位置する宗像市。市の北西部は玄界灘に面し、白い砂浜の海岸線と樹齢200年以上の黒松並木が続くさつき松原は、玄海国定公園の中でも屈指の景観を誇ってます。市内には、日本最古の神社である宗像大社や弘法大師が開基した鎮国寺、装飾古墳の桜京古墳など多くの歴史的遺跡が点在しており、玄界灘の孤島沖ノ島では、純金製指環、青銅鏡、ペルシャカットグラスなど約12万点もの国宝や重要文化財が発掘され、別名「海の正倉院」と呼ばれており、この沖ノ島（宗像大社沖津宮）、小屋島、御門柱、天狗岩、宗像大社沖津宮遙拝所、宗像大社中津宮及び宗像大社辺津宮が世界文化遺産に登録されました。

また、美しい自然や歴史的文化遺産に恵まれた良好な環境の中、市内には2つの大学が立地し、総合文化施設である宗像ユリックスやむなかたリサーチパークなど、学術都市としての特徴をもっています。

福 津 市 FUKUTSU

●人 口 / 68,778人

●世帯数 / 30,044世帯

●面 積 / 52.76km²

「人も自然も未来につながる
まち、福津。」



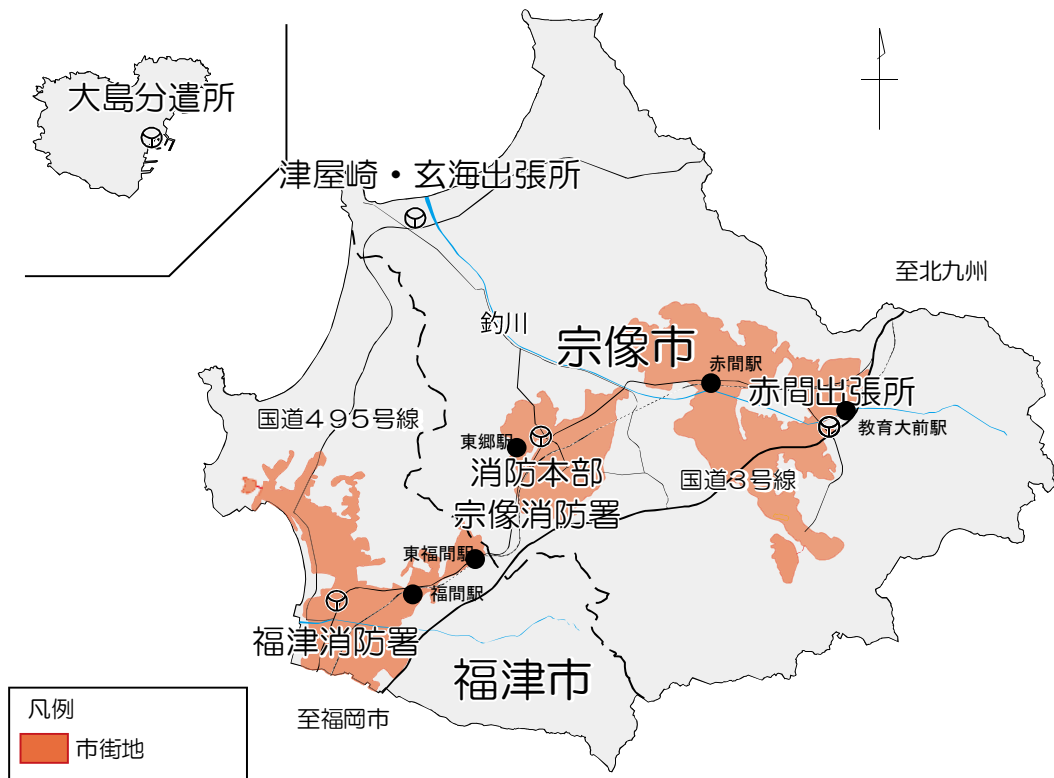
福 間 海 岸

◆福津市のプロフィール◆

福津市は、福岡県の北部で福岡市と北九州市の近隣に位置し、北東側は宗像市、南東側は宮若市、南側は古賀市に隣接しており、西側は玄界灘に面しています。また、東部を山、西部を海に囲まれ、特に海岸一帯と宮地嶽神社周辺の山林は、昭和31年に玄海国定公園に指定され、風光明媚な自然景観を形成しています。一方、交通網は、東西にJR鹿児島本線、国道3号線が延び、海岸線と併行して国道495線号が走っています。さらに、近くには九州自動車若宮インターチェンジ、古賀インターチェンジもあり、広域的な交通利便性にも富んでいます。このため、福津市は宮地嶽神社や津屋崎・福間海岸などを中心とした観光レクリエーションの場として、また、福岡・北九州両政令指定都市への通勤・通学の利便性を背景とした住宅地域として、さらには、新鮮な食料品の生産供給地域としての広域的な役割をもっています。また、福津市北部の勝浦・奴山に所在する新原(しんばる)・奴山(ぬやま)古墳群が世界文化遺産に登録されました。

消防本部(署)の配置現況

管内地図



(令和6年4月1日現在)

区分	庁舎全景(所在地)	庁舎の構造	職員・車両	摘要
宗像地区消防本部		敷地面積 4,520.23㎡ 鉄筋コンクリート造 及び鉄骨造 2階建 建築面積 1,397.38㎡	職員数27人 (内再任用者3人) 車両台数 5台	TEL (0940) 36-2425 FAX (0940) 37-0011
宗像消防署	宗像市田熊5丁目1番3号	延べ面積 2,425.32㎡ (訓練塔等を含む)	職員数56人 (内再任用者2人 任期付短時間勤務者1人) 車両台数 14台	

区 分		庁舎全景（所在地）	庁舎の構造	職員・車両	摘 要
宗 像 消 防 署	赤 間 出張所	 宗像市徳重2丁目8番1号	敷地面積 1,118.31㎡ 鉄骨造 2階建 建築面積 294.64㎡ 延べ面積 402.41㎡	職員数18人 車両台数 3台	TEL (0940) 32-6837 FAX (0940) 35-5195
	大 島 分遣所	 宗像市大島1650-2	敷地面積 645.00㎡ 鉄骨ブロック造 平屋建 延べ面積 160.46㎡ (倉庫等を含む)	職員数3人 車両台数 1台	TEL (0940) 72-2310 FAX (0940) 72-2546
福 津 消 防 署	福 津 消防署	 福津市西福間1丁目1番27号	敷地面積 1,029.66㎡ 鉄筋コンクリート造 2階建 建築面積 366.37㎡ 延べ面積 553.44㎡ (倉庫等を含む)	職員数37人 車両台数 6台	TEL (0940) 43-0521 FAX (0940) 43-7034
	津 屋 崎 ・ 玄 海 出張所	 宗像市牟田尻1860-41	敷地面積 1,165.00㎡ 鉄骨造 2階建 建築面積 214.55㎡ 延べ面積 307.28㎡	職員数8人 車両台数 2台	TEL (0940) 62-3815 FAX (0940) 62-1206

(設立)

昭和48年11月15日宗像郡宗像町の日ノ里公団アパートにおいて、プロパンガスの爆発火災（死者2人、重軽傷者9人）が発生し、これに端を発し、直ちに宗像町議会で常備消防の必要性が議論され、これが郡内他町村へ波及し、広域消防設立への気運が高まった。

その後、数回にわたる郡内町村会議による協議の結果、宗像郡消防組合設立が決定され、昭和49年4月1日付をもって福岡県知事より消防組合設立の許可を受け、同年6月1日宗像郡消防本部、同年10月1日宗像消防署の設置を見るに至った。

(過 程)

昭和 49 年 (1974)	4 月 1 日	初代組合長 由良半三郎氏就任
	6 月 1 日	消防本部(署)の設置に関する条例が組合議会において可決 初代消防長 宗實就任
	7 月 13 日	日本消防協会から広報車が寄贈される
	7 月 31 日	宗像郡消防本部(署)建設用地の確保及び福岡分署建設用地の購入決定
	9 月 1 日	消防本部(署)の仮事務所を、宗像町大字田熊1193番地の1の旧宗像農業改良普及事務所跡地に開設
昭和 50 年 (1975)	10 月 1 日	消防業務の一部(予防事務及び火災原因調査)を開始
	10 月 1 日	消防吏員40人採用（内38人が福岡県消防学校初任教育に入校）
	10 月 25 日	大島分遣所建設用地の確保決定 （大島村と借地契約を締結：無償期間2025年3月31日まで）
	10 月 15 日	消防庁舎(3署所)の建設工事契約及び着工
	3 月 17 日	日本損害保険協会及び日本自動車工業会から救急自動車各1台が寄贈される
	3 月 20 日	福岡県消防学校初任教育(38人)を修了し、実務に就いた
	3 月 31 日	消防庁舎(3署所)建築工事が完成
	4 月 1 日	消防庁舎(3署所)の開庁式及び消防業務が全面開始
	4 月 1 日	消防吏員11人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月 1 日	宗像町サイレン遠隔操作開始
昭和 51 年 (1976)	10 月 16 日	救助工作隊結成
	2 月 18 日	屈折はしご付消防ポンプ自動車購入
	4 月 1 日	消防吏員8人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月 16 日	二代目組合長 天野敏樹氏就任
	7 月 31 日	救助工作車購入
	10 月 1 日	消防吏員1人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	11 月 15 日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される
	11 月 22 日	日本損害保険協会から救急自動車が寄贈される
昭和 52 年 (1977)	12 月 7 日	本部敷地内に車庫1棟を建設
	3 月 1 日	広報紙「消防宗像」創刊号を発行
	3 月 31 日	救急無線取付工事完了
	6 月 6 日	人員搬送車を購入
	6 月 13 日	大島分遣所電動シャッター取付工事完了
昭和 53 年 (1978)	10 月 1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月 29 日	化学消防ポンプ自動車を購入、本署に配備
	3 月 24 日	(有)蔭田モータースから査察車が寄贈される
昭和 54 年 (1979)	1 月 20 日	本署用地所有権移転登録完了
	10 月 1 日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月 25 日	大島分遣所危険物屋内貯蔵所完成
	11 月 1 日	本署消防訓練塔着工
	12 月 11 日	日本自動車工業会から救急自動車が寄贈される
	12 月 20 日	本署少量危険物屋内貯蔵所完成

昭和 55 年 (1980)	1 月 22 日	本署仮設車庫完成
	2 月 7 日	宗像オートから水防用資機材運搬車が寄贈される
	3 月 13 日	本署消防訓練塔完成
	8 月 10 日	本署自家発電設備設置
	8 月 31 日	本署通信指令室増改築
昭和 56 年 (1981)	12 月 1 日	高層ビルガス爆発防ぎょ訓練実施（宗像市日の里）
	4 月 1 日	消防本部名称変更（宗像郡消防本部から宗像地区消防本部）
	4 月 1 日	消防吏員 5 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月 30 日	本署、タイプ室及び給湯室増改築
	10 月 25 日	玄洋福岡ライオンズクラブから指令車寄贈、本署に配備
昭和 57 年 (1982)	11 月 15 日	日本自動車工業会から救急自動車寄贈、本署に配備
	2 月 15 日	二代目消防長 山内伸夫就任
	3 月 30 日	福岡分署敷地拡張用地（301㎡）購入
	6 月 1 日	無線制ぎょサイレン（宗像、福岡、津屋崎、玄海）設置
	6 月 21 日	福岡分署車庫シャッター取付工事完了
昭和 58 年 (1983)	8 月 10 日	福岡分署敷地拡張工事竣工
	8 月 20 日	消防無線空中線改修
	9 月 30 日	福岡分署訓練塔（鉄骨造）完成
	11 月 1 日	本署訓練塔（鉄骨ALC）完成
	11 月 4 日	事務連絡車購入、本部に配備
昭和 59 年 (1984)	12 月 27 日	本署屋内訓練場改修
	12 月 27 日	本署倉庫兼書庫（鉄骨プレハブ造）完成
	4 月 1 日	消防吏員 4 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 31 日	査察車購入、本部に配備
	10 月 9 日	小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備
昭和 60 年 (1985)	11 月 20 日	消防ポンプ自動車を購入、福岡分署に配備
	3 月 4 日	乗用車購入、本部に配備
	4 月 1 日	三代目消防長 坂本守正就任
	5 月 2 日	指揮車購入、福岡分署に配備
	10 月 12 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備
昭和 61 年 (1986)	10 月 12 日	救助工作車購入、本署に配備
	10 月 22 日	福岡県共済農業協同組合連合会から救急自動車寄贈され、福岡分署に配備
	4 月 1 日	消防吏員 2 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 7 日	調査車購入、本署に配備
	5 月 14 日	広報車購入、本部に配備
昭和 62 年 (1987)	5 月 24 日	人員搬送車購入、本署に配備
	6 月 16 日	福岡分署改築工事竣工
	9 月 3 日	消防ポンプ自動車購入、本署に配備
	9 月 10 日	資機材運搬車購入、本署に配備
	8 月 18 日	本部(署)庁舎増改築工事着工
昭和 63 年 (1988)	3 月 15 日	本部(署)庁舎増改築工事竣工
	5 月 26 日	福岡県総合防災訓練実施（玄海町鐘崎）
	6 月 2 日	三代目組合長 的場重郎氏就任
	9 月 1 日	本署通信指令室の移転工事着工
平成 元年 (1989)	2 月 1 日	本署通信指令室の改築工事完了
	2 月 1 日	消防緊急情報システム運用開始
	3 月 17 日	救急自動車購入、赤間出張所に配備
	4 月 1 日	消防吏員 7 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月 1 日	赤間出張所建設工事着工

	9 月 27 日	(社) 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車(寄贈され、赤間出張所に配備
	9 月 30 日	赤間出張所建設工事完了
	10 月 9 日	赤間出張所実働開始
平成 2 年	4 月 1 日	消防吏員 8 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1990)	5 月 17 日	(社) 日本損害保険協会から救急自動車(寄贈され、赤間出張所に配備
	7 月 20 日	神湊出張所建設工事着工
	11 月 20 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備
	12 月 20 日	神湊出張所建設工事完了
	12 月 26 日	神湊出張所実働開始
平成 3 年	3 月 27 日	玄洋福岡ライオンズクラブから救急自動車(寄贈される
(1991)	4 月 1 日	消防吏員 3 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 30 日	福岡分署仮眠室ベット改修工事完了
	7 月 25 日	大島分遣所軽量シャッター取付工事完了
	10 月 30 日	訓練塔(主塔)改修工事完了
平成 4 年	3 月 5 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、本署に配備
(1992)	3 月 31 日	本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(8 1. 8 2 m ²)
	4 月 1 日	消防吏員 10 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	8 月 15 日	大島分遣所内装工事完了
	10 月 12 日	四代目組合長 瀧口凡夫氏就任
	11 月 27 日	本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(4 5. 0 5 m ²)
平成 5 年	4 月 1 日	消防吏員 5 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1993)	4 月 1 日	財務会計処理のためのコンピューター導入
	7 月 10 日	福岡分署シャッター取替工事完了
	10 月 4 日	40m級はしご付消防ポンプ自動車を購入
平成 6 年	2 月 28 日	日本自動車工業会から高規格救急自動車(ニッサンパラメディック)が寄贈される
(1994)	3 月 17 日	屈折はしご付消防ポンプ自動車を戦友会を通じてミャンマーへ贈る
	4 月 1 日	四代目消防長 多賀富男就任
	4 月 1 日	消防吏員 7 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 19 日	消防組合設立 20 周年記念式典開催 広報用ビデオ「出動!! ファイヤーファイター」制作 20 周年記念誌「消防宗像(20 年の歩み)」作成
	7 月 29 日	指令車(スバルレガシー・ワゴン)購入、本署に配備
	9 月 6 日	福岡無線中継局更新
平成 7 年	11 月 11 日	救急伝送システム運用開始、宗像水光会総合病院に設置
(1995)	2 月 17 日	阪神淡路大震災による被災地(神戸市)支援部隊派遣
	4 月 1 日	消防吏員 5 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 24 日	乗用車(トヨタ・クラウン)購入、本部に配備
	5 月 27 日	消防庁長官から、阪神淡路大震災の消防支援活動功勞として感謝状が贈られる
	6 月 30 日	緊急消防援助隊発足(救急隊を登録)
	9 月 18 日	赤間出張所増築工事完了
	10 月 18 日	福岡分署内装補修工事完了
	11 月 1 日	赤間出張所 8 人増員、1 箇分隊増強
	11 月 1 日	防災パンフレット「わが家の防災ガイド」を 60,000 部作成し、管内全世帯に配布する
	12 月 16 日	消防ポンプ自動車(モリタ MX 1)購入、赤間出張所に配備
	12 月 28 日	救急伝送システムを宗像医師会病院に設置(管内 2 ヲ所目)
平成 8 年	4 月 1 日	消防吏員 4 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1996)	5 月 29 日	大規模災害時の応急救護所及び現場指揮所等施設のために、エアータント購入
	9 月 12 日	事務連絡車(トヨタカローラ・ワゴン)購入、本部に配備
	10 月 7 日	大島村住民向けに、ネットワークサービス(オフトークシステム)運用開始
	10 月 28 日	宗像消防署訓練塔改修工事

	11 月 5 日	救急伝送システムを蜂須賀病院に設置(管内3ヵ所目)
	11 月 27 日	小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備
平成 9 年	4 月 1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1997)	7 月 1 日	調査車(トヨタハイエース)購入、本部に配備
	7 月 7 日	査察車(マツダカペラ・ワゴン)購入、本部に配備
	8 月 28 日	福岡県知事から、消防防災功労団体として、消防本部に感謝状が贈られる
	11 月 4 日	化学消防ポンプ自動車(日野FD1JGB10643)購入、本署に配備
	11 月 21 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、福岡分署に配備
平成 10 年	1 月 27 日	宗像消防署・福岡分署・大島分遣所改修工事完了
(1998)	3 月 7 日	消防庁長官から優良消防機関として、消防本部に表彰旗が贈られる
	4 月 1 日	宗像地区事務組合公平委員会事務が、宗像清掃施設組合から宗像地区消防組合に移管される
	11 月 25 日	消防ポンプ自動車(モリタMX1)購入、本署に配備
	12 月 21 日	高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)購入、赤間出張所に配備
平成 11 年	3 月 31 日	財務会計システムを更新
(1999)	11 月 15 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、神湊出張所に配備
	11 月 18 日	指揮車(ニッサンセレナ)購入、本署に配備
	11 月 26 日	福岡分署倉庫新築
平成 12 年	4 月 1 日	五代目消防長 吉武秋生就任
(2000)	4 月 17 日	消防車救急先行システム開始
	6 月 8 日	五代目組合長 池浦順文氏就任
	8 月 29 日	救助工作車(日野KK-GD1JGDF)購入、本署に配備
	10 月 17 日	広報車(トヨタカルディナ)購入、福岡分署に配備
平成 13 年	4 月 1 日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(2001)	11 月 1 日	玄洋福岡ライオンズクラブから「インパルス消火システム」が寄贈され、本署に配備
平成 14 年	1 月 29 日	消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備
(2002)	2 月 1 日	高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)購入、本署に配備
	2 月 15 日	神湊出張所倉庫増築工事完了
	4 月 1 日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	12 月 19 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、赤間出張所に配備
平成 15 年	4 月 1 日	旧宗像市と旧玄海町が合併新「宗像市」誕生
(2003)	4 月 8 日	消防吏員5人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7 月 25 日	はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール完了
	8 月 4 日	赤間出張所屋根防水工事完了
	8 月 4 日	神湊出張所外壁塗装工事完了
	8 月 29 日	資機材搬送車購入、本署に配備
	10 月 1 日	六代目消防長 木村幸雄就任
平成 16 年	4 月 7 日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(2004)	7 月 10 日	本部(署)庁舎増改築工事着工
平成 17 年	1 月 24 日	旧福岡町と旧津屋崎町が合併「福津市」誕生
(2005)	1 月 24 日	六代目組合長 原田慎太郎氏就任
	1 月 31 日	本部(署)庁舎増改築工事完了
	3 月 28 日	旧大島村が宗像市へ編入合併
	3 月 28 日	七代目組合長 池浦順文氏就任
	3 月 31 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、福岡分署に配備
	4 月 1 日	緊急消防援助隊に消火部隊を登録
	4 月 1 日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	12 月 17 日	本部(署)庁舎改築第2期工事着工
	12 月 19 日	災害対応特殊高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)、緊急消防援助隊動態情報システム購入、赤間出張所に配備

平成 18 年 (2006)	3 月 7 日	高機能消防指令センター総合整備事業完了、運用開始
	4 月 1 日	交替制勤務職員の勤務体制を二部制から三部制とし運用開始
	4 月 1 日	消防吏員 2 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 28 日	福岡県総合防災訓練実施（福津市西福岡）
	12 月 21 日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備
平成 19 年 (2007)	1 月 1 日	消防本部に救急課を設置
	3 月 31 日	宗像地区内の一部事務組合の統合により宗像地区消防組合が解散

※ 平成19年4月1日、宗像地区消防組合、宗像自治振興組合、宗像地区水道企業団及び宗像清掃施設組合が統合し、「宗像地区事務組合」となる。これに伴い3月31日をもって消防組合は解散。

平成 19 年 (2007)	4 月 1 日	旧宗像地区水道企業団、旧宗像自治振興組合、旧宗像清掃施設組合、旧宗像地区消防組合が統合し宗像地区事務組合発足
	4 月 1 日	初代組合長 池浦順文氏就任
	4 月 1 日	消防吏員 4 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	9 月 1 日	I P・携帯電話発信地表示システム運用開始
	11 月 1 日	財務会計システムを更新
平成 20 年 (2008)	3 月 31 日	訓練塔補修工事（屋外階段設置等）完了
	4 月 1 日	消防吏員 6 人採用、内 4 人が福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月 16 日	消防本部庁舎空調機器改修工事完了
	10 月 1 日	消防吏員 1 人採用、内 3 人が福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月 31 日	人事情報システム導入
平成 21 年 (2009)	1 月 23 日	福岡無線中継局、ネットワーク設備改修工事完了
	2 月 24 日	消防・救急無線デジタル化に伴う電波伝搬調査実施（フィールドテスト）
	3 月 6 日	二代目組合長 谷井博美氏就任
	4 月 1 日	七代目消防長 乙藤富雄就任
	4 月 1 日	消防吏員 3 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7 月 21 日	庁舎耐震診断実施（本署・福岡分署）
	8 月 24 日	赤間出張所の全面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却（85.2㎡）
	12 月 10 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック災害対応型）購入、本署に配備
平成 22 年 (2010)	2 月 1 日	事務局移転（宗像市多禮 2 9 8 番地）
	4 月 1 日	宗像地区事務組合水道事業統合
	4 月 1 日	消防吏員 4 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 21 日	三代目組合長 小山達生氏就任
	10 月 1 日	1 1 9 番緊急通報に係る位置情報通知システム（統合型）運用開始
	10 月 1 日	消防吏員 2 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
平成 23 年 (2011)	2 月 25 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備
	3 月 14 日	東日本大震災により緊急消防援助隊福岡県隊として宮城県亘理郡山元町へ消火隊及び救急隊各 1 隊（7 人）出動
	4 月 1 日	八代目消防長 門脇 豊就任
	4 月 1 日	消防吏員 6 人採用、内 3 人が 4 月、内 3 人が 9 月に福岡県消防学校初任教育に入校
	12 月 27 日	消防情報表示システム地図検索データ改修完了
	12 月 27 日	消防救急無線デジタル化基本設計完了
平成 24 年 (2012)	3 月 28 日	消防指令システム地図検索データ改修完了
	4 月 1 日	消防吏員 3 人採用、内 2 人が 4 月、内 1 人が 9 月に福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 21 日	四代目組合長 谷井博美氏就任
	6 月 14 日	赤間出張所外部改修工事完了
	9 月 21 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック災害対応型）購入、神湊出張所に配備
	9 月 24 日	高機能消防指令センター中間整備事業完了
	11 月 8 日	宗像消防署訓練塔改修工事完了

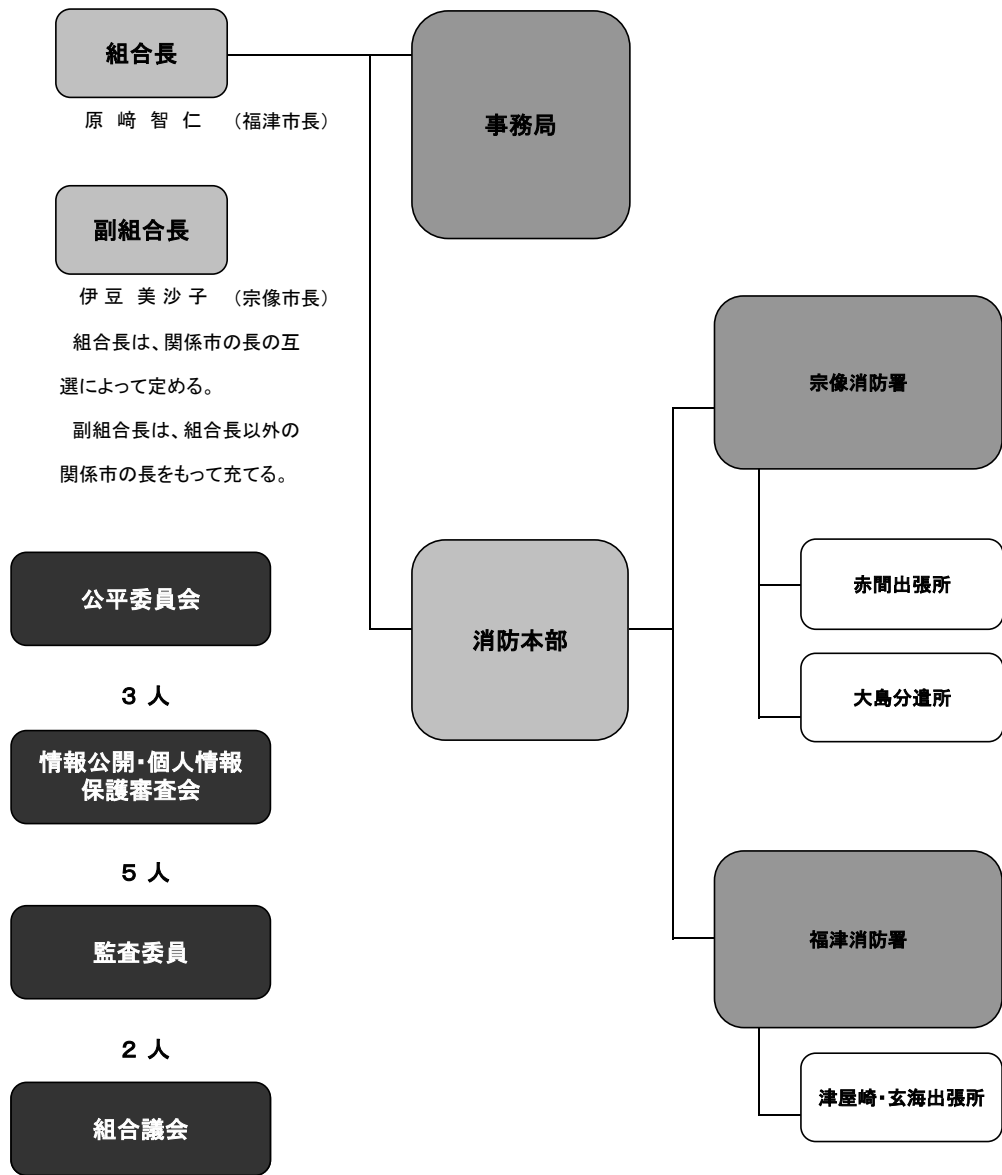
平成 25 年 (2013)	2 月 21 日	人員搬送車を更新
	3 月 19 日	消防救急無線デジタル化実施設計完了
	4 月 1 日	消防吏員 4 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7 月 16 日	福岡分署公共下水切替及び1階2階トイレ改修工事完了
平成 26 年 (2014)	2 月 3 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック災害対応型）購入、赤間出張所に配備
	3 月 5 日	支援車（日産エクストレイル）購入、本署に配備
	4 月 1 日	消防吏員 2 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 1 日	交替制勤務職員の勤務体制を三部制から二部制とし運用開始
	5 月 21 日	五代目組合長 小山達生氏就任
	7 月 11 日	福岡分署空調設備取替工事完了
	12 月 15 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック災害対応型）購入、福岡分署に配備
平成 27 年 (2015)	12 月 25 日	小型動力ポンプ付積載車（ダイハツハイジェット）購入、大島分遣所に配備
	3 月 18 日	宗像消防署訓練塔屋上鉄骨補強、塗装工事完了
	3 月 18 日	消防救急無線デジタル化整備工事完了
	4 月 1 日	消防吏員 2 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	8 月 20 日	署活動用無線機を購入、署所へ配置
	9 月 3 日	事務連絡車（日産ウイングロード）購入、消防総務課に配備
	10 月 1 日	大島分遣所の勤務体制を二部制から三部制とし運用開始
平成 28 年 (2016)	11 月 13 日	宗像地区消防本部屋上高圧線修繕工事完了
	2 月 5 日	化学消防ポンプ自動車（日野SDG-GD7JGAA）購入、本署に配備
	2 月 12 日	水槽付消防ポンプ自動車を「カンボジアでの不正を許さぬ会」を通してカンボジア王国：シアヌークビル特別市へ寄贈
	3 月 30 日	福岡市消防局へ消防救急無線を接続完了
	3 月 30 日	株式会社木村組より高規格救急自動車（トヨタハイメディック災害対応型）1 台が寄贈される、本署に配備
	4 月 1 日	消防吏員 9 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 15 日	平成28年熊本地震により緊急消防援助隊福岡県隊として熊本県益城町等へ消防車 3 台延べ 4 2 人出動
	5 月 21 日	六代目組合長 谷井博美氏就任
	8 月 3 日	アナログ無線撤去工事
	10 月 13 日	宗像地区消防本部屋上及び 2 階ベランダ防水改修工事
平成 29 年 (2017)	11 月 7 日	はしご付消防ポンプ自動車（MLLLAH5-30WG）購入、本署に配備
	4 月 1 日	九代目消防長 灘辺正信就任
	4 月 1 日	消防吏員 7 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 1 日	救急隊 5 隊運用開始
	4 月 13 日	福岡県知事が消防通信指令事務の委託に関する規約の制定に伴う届出を受理
	6 月 27 日	査察車購入（スズキ エブリイ）、本部に配備
	7 月 1 日	むなかた・ふくつAEDステーション制度開始
	7 月 6 日	平成29年九州北部豪雨における福岡県消防相互応援協定に基づく派遣消防隊として車両 2 台、救助艇 1 艇、職員延べ 1 0 7 人を派遣
	8 月 21 日	宗像地区消防本部屋上防水改修工事
	8 月 31 日	大規模災害発生時における燃料の優先供給に関する覚書締結
	11 月 1 日	コンビニAEDステーション開始
	11 月 30 日	福岡都市圏消防通信指令業務共同運用開始
	12 月 6 日	消防ポンプ自動車（CAFS）2 台購入、本署及び赤間出張所に配備
	12 月 14 日	調査車購入、本署に配備
平成 30 年 (2018)	1 月 15 日	災害時における消防用水の確保に関する覚書締結
	2 月 6 日	指揮自動車購入、本署に配備
	4 月 1 日	十代目消防長 永島英親就任
	4 月 1 日	消防吏員 8 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校

平成 31 年 (2019)	4 月 1 日	機構改革を実施 1 本部 2 署 2 出張所 1 分遣所体制とし、宗像消防署福岡分署を福津消防署に、宗像消防署神湊出張所を福津消防署津屋崎・玄海出張所に改める
	5 月 21 日	七代目組合長 原崎智仁氏就任
	7 月 12 日	救急自動車 1 台を日本外交協会を通じて、パキスタンへ寄贈
	7 月 27 日	平成 30 年 7 月豪雨により緊急消防援助隊福岡県隊として広島県広島市へ消防車 1 台 6 人出動
	11 月 5 日	乗用車（日産 セレナ）購入、本部に配備
	1 月 25 日	指令車購入、福津消防署に配備
	1 月 31 日	宗像地区ファーストレスポンス制度開始
	2 月 18 日	救助工作車購入、宗像消防署に配備
	3 月 18 日	高規格救急自動車購入、赤間出張所に配備
	3 月 29 日	本部敷地内に車庫 1 棟増築
令和 元 年 (2019)	4 月 1 日	消防吏員 7 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 1 日	福岡和白病院ドクターカー運用に関する協定書を締結
	7 月 5 日	全日本不動産協会福岡県本部と「防火対象物の消防用設備等点検結果報告の情報提供にかかる協定」を締結
	8 日	福津消防署等改修工事設計業務委託契約
	11 月 12 日	大島分遣所改修工事
	12 月 4 日	福津消防署増改築改修工事
	12 月 24 日	公益社団法人福岡県宅地建物取引業協会と「防火対象物の消防用設備等点検結果報告の情報提供にかかる協定」を締結
	1 月 10 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、福津消防署に配備
	4 月 1 日	消防吏員 4 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 1 日	救急隊 6 隊運用開始
令和 2 年 (2020)	5 月 21 日	八代目組合長 伊豆美沙子氏就任
	7 月 4 日	令和 2 年 7 月豪雨により緊急消防援助隊福岡県隊として熊本県へ延べ車両 5 台、15 人出動
	8 月 6 日	九州電力送配電株式会社福岡配電事業所と災害発生時における相互の協力体制に関する覚書を締結
	8 月 31 日	非常用発動発電機集約工事
	11 月 19 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、津屋崎・玄海出張所に配備
	11 月 26 日	高規格救急自動車 2 台購入、福津消防署及び津屋崎・玄海出張所に配備
	12 月 4 日	赤間出張所ホース掛塔鉄骨部材修繕工事完了
令和 3 年 (2021)	3 月 3 日	防災協会より資機材運搬車（ダイハツ ハイゼットトラック）1 台が寄贈される、予防課に配備
	3 月 12 日	福津消防署建築工事基本設計完了
	4 月 26 日	「化学テロにおける神経剤解毒剤自動注射器の使用に関する研修」インストラクター養成コース修了
	6 月 21 日	事務連絡車（ダイハツ ハイゼット）購入、福津消防署に配備
	7 月 19 日	株式会社木村組より高規格救急自動車（トヨタ自動車製）及び高度救命処置用資機材購入資金が寄贈される
	12 月 22 日	高規格救急自動車購入、赤間出張所に配備
令和 4 年 (2022)	3 月 4 日	救急自動車 1 台を日本外交協会へ譲渡、グアテマラ共和国へ寄贈予定
	3 月 18 日	福津消防署建築工事実施設計業務委託
	4 月 1 日	消防吏員 6 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 20 日	株式会社木村組より寄贈された購入資金（令和 3 年 7 月 19 日寄贈）により、高規格救急自動車（トヨタ自動車製）及び高度救命処置用資機材を購入、宗像消防署に配備
	5 月 21 日	九代目組合長 原崎智仁氏就任
	6 月 1 日	救急隊員研修として宗像水光会総合病院で救急ワークステーションを開始
	12 月 19 日	宗像消防署訓練塔補助塔補修工事
令和 5 年 (2023)	1 月 18 日	第 63 回交通安全国民運動中央大会交通安全優良事業所表彰式にて宗像地区消防本部が交通安全優良事業所として表彰される
	3 月 30 日	常備消防力適正配置調査業務委託
	3 月 31 日	福津消防署建設予定地取得
	4 月 1 日	十一代目消防長 牧吉紀就任
	4 月 1 日	消防吏員 2 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月 27 日	市民の方から高規格救急自動車及び高規格救急自動車積載資器材一式が寄贈され、宗像消防署赤間出張所で運用開始

令和 6 年 (2024)	11 月 30 日	福津消防署建築工事修正設計業務委託
	12 月 21 日	宗像消防署大島分遣所改修工事
	1 月 1 日	株式会社グローバルアリーナと「大規模災害時における支援協力に関する協定」を締結
	3 月 1 日	イオンモール株式会社と「大規模災害時における支援協力に関する協定」を締結
	3 月 25 日	福津消防署造成工事
	4 月 1 日	消防吏員 2 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 16 日	福津消防署建築工事着工（工期 令和 6 年 4 月 1 7 日～令和 7 年 5 月 3 0 日）
	5 月 8 日	新福津消防署起工式開催

宗像地区事務組合 組織図

(令和6年4月1日)



議員定数 16 人
宗像市 8 人
福津市 8 人

組合議員は、関係市の議会において、当該議会の議員のうちから選挙する。

議長及び副議長は、組合議員の互選により定める。

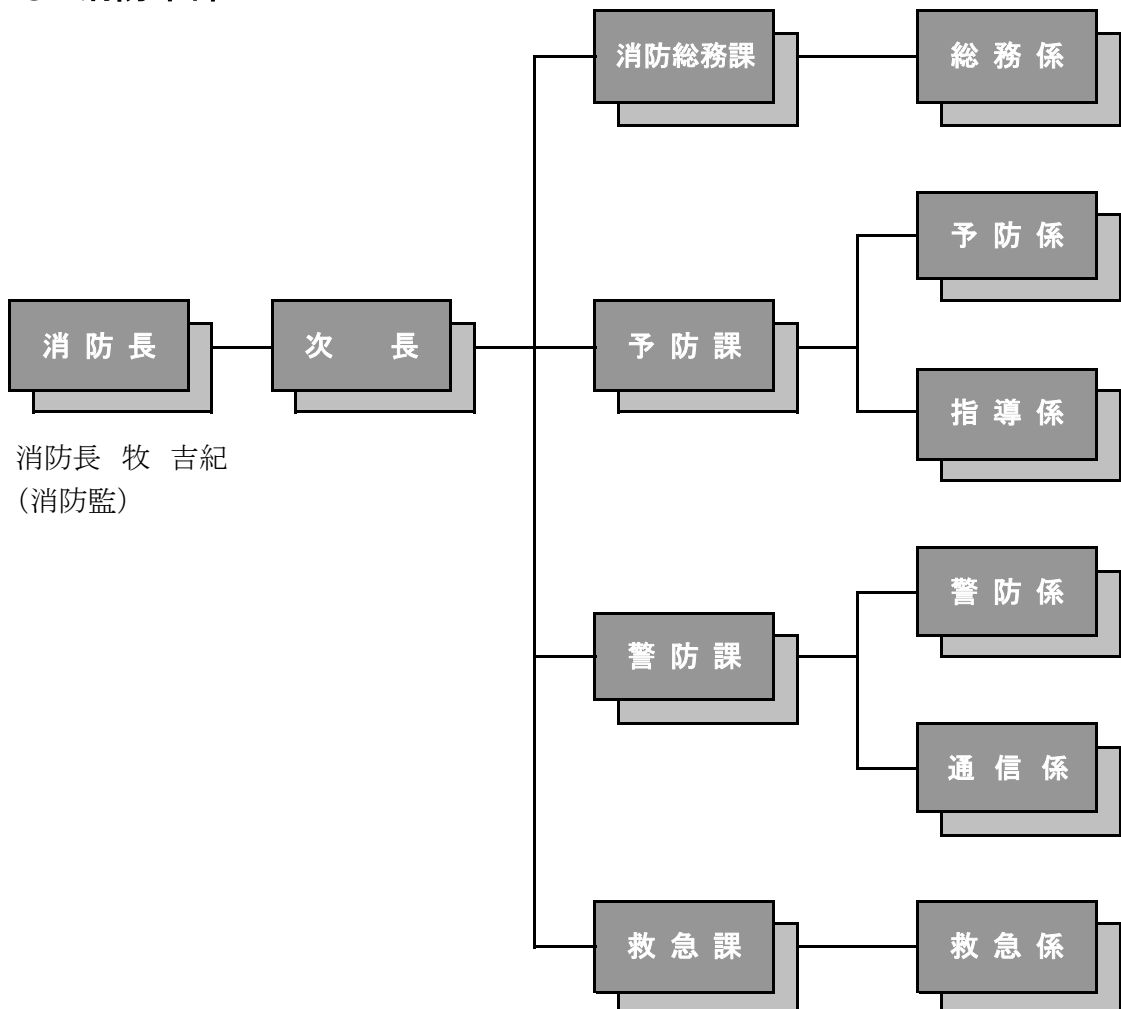
議 員	川 内 亮 (宗像市)	議 員	安 部 芳 英 (宗像市)
議 員	井 手 口 忠 信 (福津市)	議 員	榎 本 博 (福津市)
議 員	上 野 崇 之 (宗像市)	議 員	石 松 和 敏 (宗像市)
議 員	秦 浩 (福津市)	議 員	米 山 信 (福津市)
議 員	小 林 栄 二 (宗像市)	議 員	吉 田 剛 (宗像市)
議 員	豆 田 優 子 (福津市)	議 員	中 村 清 隆 (福津市)
議 員	森 田 卓 也 (宗像市)	議 員	神 谷 建 一 (宗像市)
議 員	戸 田 進 一 (福津市)	議 員	高 山 賢 二 (福津市)

消防本部・消防署の組織

○ 歴代消防長

歴 代	氏 名	在 任 期 間
初 代	宗 實	S 49. 6. 1 ~ S 56. 12. 31
二 代	山 内 伸 夫	S 57. 2. 15 ~ S 60. 3. 31
三 代	坂 本 守 正	S 60. 4. 1 ~ H 6. 3. 31
四 代	多 賀 富 男	H 6. 4. 1 ~ H 12. 3. 31
五 代	吉 武 秋 生	H 12. 4. 1 ~ H 15. 3. 31
六 代	木 村 幸 雄	H 15. 10. 1 ~ H 21. 3. 31
七 代	乙 藤 富 雄	H 21. 4. 1 ~ H 23. 3. 31
八 代	門 脇 豊	H 23. 4. 1 ~ H 29. 3. 31
九 代	灘 辺 正 信	H 29. 4. 1 ~ H 30. 3. 31
十 代	永 島 英 親	H 30. 4. 1 ~ R 5. 3. 31
十 一 代	牧 吉 紀	R 5. 4. 1 ~

○ 消防本部

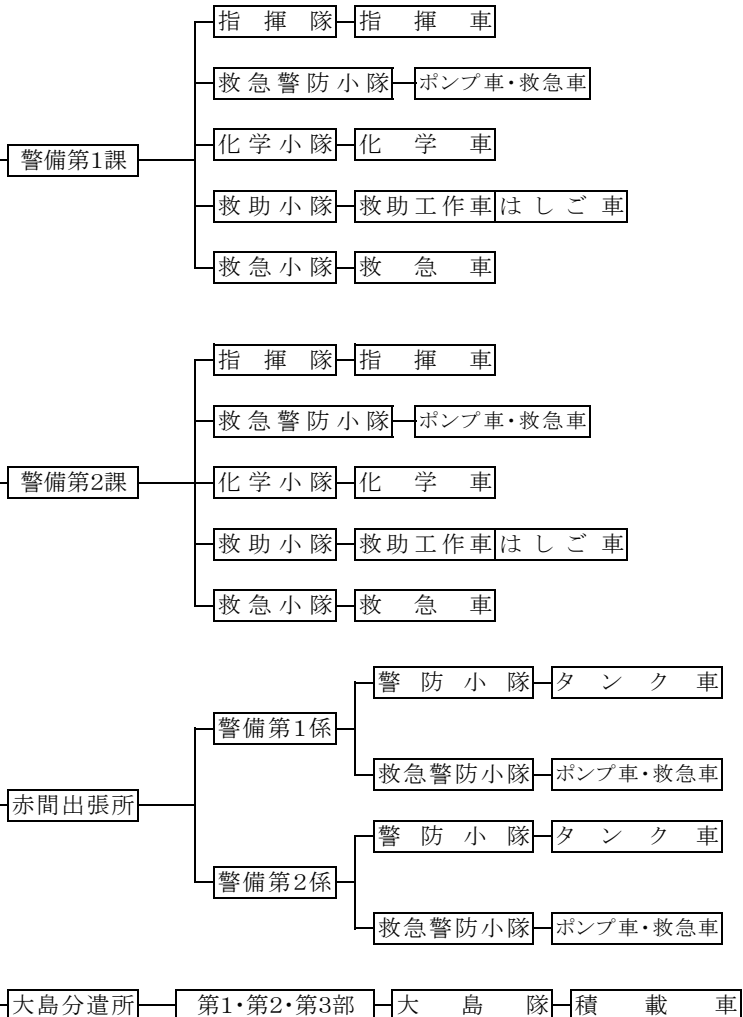


○消防署

宗像消防署

署 長

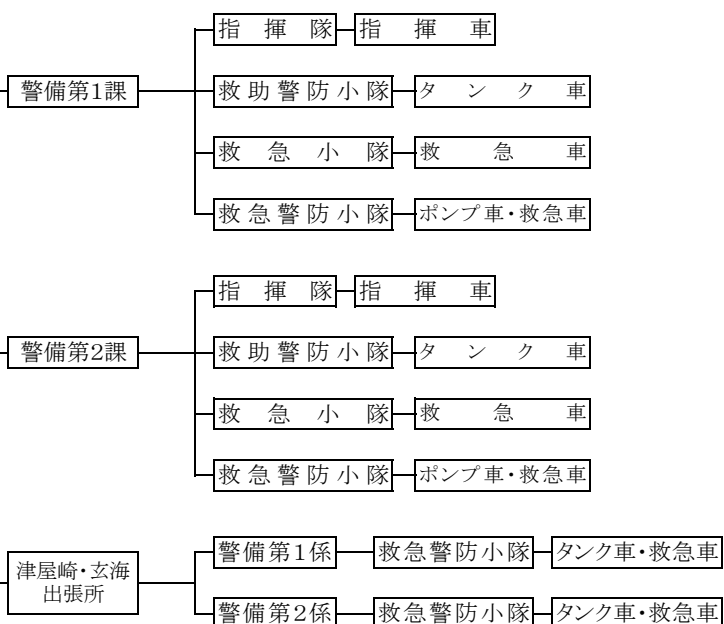
副 署 長



福津消防署

署 長

副 署 長



消防本部の事務分掌

むなかたの消防

消防 総務 課	総務係	(1) 消防本部の組織、制度及び職務権限に関すること。 (2) 消防職員の人事に関すること。 (3) 消防職員の給与、勤務時間、休日、休暇、福利厚生及び安全衛生等の労働条件管理に関すること。 (4) 秘書及び渉外に関すること。 (5) 消防事務の企画及び管理に関すること。 (6) 消防職員の教育訓練、研修及び監察に関すること。 (7) 公文書及び公印の管理に関すること。 (8) 消防史及び記録統計の編さんに関すること。 (9) 儀式及び交際に関すること。 (10) 消防年報の作成に関すること。 (11) 消防力の整備に関すること。 (12) 消防職員の任免、分限、服務、賞罰その他身分に関すること。 (13) 消防職員委員会に関すること。 (14) 消防機械器具及び消防施設の取得、管理及び処分に関すること。 (15) 消防長会に関すること(他の課の所管に係るものを除く)。 (16) 本部内の他の課の主管に属しないこと。
	予防係	(1) 危険物の規制に関すること。 (2) 危険物施設等の査察計画及び実施に関すること。 (3) 危険物施設の違反処理に関すること。 (4) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)第36条第1項各号に規定する設置の許可又は第37条の2第1項に規定する変更の許可の意見書交付に関すること。 (5) 予防運動の計画及び調整に関すること。 (6) 防災協会の育成指導に関すること。 (7) その他危険物等の火災予防に関すること。 (8) その他予防課の他の係の所掌に属さない事務の処理に関すること。
防 課	指導係	(1) 建築同意事務に関すること。 (2) 防火管理者に関すること。 (3) 防火思想の普及宣伝に関すること。 (4) 防火対象物等の査察計画及び実施に関すること。 (5) 防火対象物の違反処理に関すること。 (6) 消防用設備等の指導に関すること。 (7) 旅館、ホテルの意見書の交付に関すること。 (8) 防災処理の指導に関すること。 (9) 消防設備士会の育成指導に関すること。 (10) その他火災予防に関すること。

警 防 課	警 防 係	(1) 消防機械器具の整備及び管理に関すること。 (2) 車両等の燃料管理に関すること。 (3) 宗像地区連絡協議会に関すること。 (4) 消防相互応援に関すること。 (5) 緊急消防援助隊に関すること。 (6) 国民保護法に関すること。 (7) 各種訓練に関すること。 (8) その他警防課の他の係の所掌に属さない事務の処理に関すること。
	通 信 係	(1) 消防通信の業務に関すること。 (2) 消防通信施設の整備、保守管理及び計画に関すること。 (3) 気象観測及び記録に関すること。 (4) 通信統計及び通信情報に関すること。 (5) 火災警報に関すること。 (6) 庁内電話交換に関すること。 (7) 救急応需情報に関すること。 (8) 共同指令センターの運営に関すること。 (9) 消防情報支援システムの管理運営及びデータ管理に関すること。 (10) 福岡県防災・行政情報通信ネットワークに関すること。 (11) 緊急通報システムに関すること。 (12) 火災・災害等速報に関すること。 (13) その他通信業務に関すること。
	救 急 係	(1) 救急隊及び配置に関すること。 (2) 救急資器材の整備及び管理に関すること。 (3) 救急に関する行事の企画に関すること。 (4) 応急手当等の普及啓発に関すること。 (5) 患者等搬送事業者に対する指導及び認定に関すること。 (6) 救急病院等医療関係機関との連絡調整に関すること。 (7) 救急統計に関すること。 (8) メディカルコントロールに関すること。 (9) その他救急業務に関すること。

消 防 署	全 般	(1) 消防署の庶務に関する事。 (2) 文書收受及び整理保存に関する事。 (3) 公印の管理に関する事。 (4) 職員の勤務及び教養に関する事。 (5) 警備隊の配置及び運用に関する事。 (6) 災害の警戒及び防ぎよに関する事。 (7) 各種訓練に関する事。 (8) 災害、救急の調査及び報告並びに統計に関する事。 (9) 火災その他災害の原因及び損害の調査に関する事。 (10) 自主防災組織に関する事。 (11) 各種諸証明に関する事。 (12) 各種届出の処理に関する事。 (13) 備品の使用管理に関する事。 (14) 施設の整備保全及び運用に関する事。 (15) 消防署内事務の連絡調整に関する事。
	予 防 関 係	(1) 消防法(昭和23年法律第186号)第10条に規定される危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関する事。 (2) 危険物製造所等の完成検査、廃止、保安監督者選任(解任)届出、予防規程制定(変更)認可申請及び危険物変更届出に関する事。 (3) 少量危険物及び指定可燃物の規制に関する事。 (4) 液化石油ガス及び高圧ガスの保安指導に関する事。 (5) 危険物施設等及び防火対象物等の査察の実施に関する事。 (6) 建築物、工作物等の火災及び人命危険の予防措置に関する事。 (7) 防火管理者及び防災管理者に関する事。 (8) 防火思想の普及宣伝に関する事。 (9) 自衛消防隊の育成指導に関する事。 (10) 危険物施設等及び防火対象物等の違反処理に関する事。 (11) 消防用設備等の指導に関する事。 (12) 催物その他各種届出に関する事。 (13) 防災処理の指導に関する事。

消 防 署	警 防 関 係	(1) 救助業務及び潜水業務の実施に関する事。 (2) 消防水利の計画、調査及び保全に関する事。 (3) 機関員等の技術管理に関する事。 (4) 消防の警備計画に関する事。 (5) 消防団に関する事。
	救 急 関 係	(1) 救急業務の計画及び実施に関する事。 (2) 応急手当等の普及啓発の実施に関する事。

協定名	締結年月日	協定市町村等	応援の内容
宗像市・福津市と隣接する市外町との消防相互応援協定	昭和52年10月1日	宗像市、福津市、岡垣町、宮若市、鞍手町	水火災その他の災害
福岡都市圏市町消防相互応援協定	昭和55年3月1日	福岡都市圏内の市町等 9市、8町 5消防組合	火災、救急救助事案その他の災害
遠賀・中間地域広域行政事務組合、直方鞍手広域市町村圏事務組合、宗像地区事務組合常備消防相互応援協定	平成19年4月1日	遠賀・中間地域広域行政事務組合 直方鞍手広域市町村圏事務組合 宗像地区事務組合	火災又は地震等の災害
福岡県消防相互応援協定	平成元年3月25日	福岡県内の全市町村等 60市町村 13消防組合	大規模災害等
高速自動車道における消防相互応援協定	昭和61年10月15日	福岡県内インター所在7市1町10消防組合	全ての災害

消防本部の管轄地域

福岡県



- | | | | | |
|---------|--------|-----------|-------------|---------|
| 1 北九州市 | 6 筑後市 | 11 糸島市 | 16 春日大野城那珂川 | 21 粕屋南部 |
| 2 福岡市 | 7 行橋市 | 12 八女市 | 17 田川地区 | 22 宗像地区 |
| 3 大牟田市 | 8 中間市 | 13 筑紫野太宰府 | 18 京築広域 | 23 粕屋北部 |
| 4 久留米広域 | 9 苅田町 | 14 飯塚地区 | 19 直方鞍手広域 | 24 遠賀 |
| 5 直方市 | 10 柳川市 | 15 みやま市 | 20 甘木・朝倉 | |

令和5年
4月

12日 第46回福岡県消防職員意見発表会

宗像地区消防本部を代表して「田中孝成」消防士が第46回福岡県消防職員意見発表会に出場し、努力賞を受賞。



22・24・25・26日 署内事務監査

消防本部、各署所の事務監査を実施。

5月

6月

4日 消防団・消防署合同水防訓練

宗像市田久「田久桜公園」で宗像市と合同の水害対応訓練を実施。

危険物安全週間(6月4日～10日)

危険物安全週間は、平成2年消防庁により制定され、以来毎年6月の第2週(日曜日から土曜日までの1週間)に各種事業が実施。

5日 職員褒章(赤間出張所救急警防小隊3人)

救急事案において、心肺停止状態となった女性に対し迅速かつ適切な救命措置により生命を救い、機能障害なく社会復帰につなげた功労



6・7日 第1回防火管理者新規講習会

学校・店舗・事業所等多数の者が勤務し、居住する防火対象物の関係者を集めて、防火管理者の資格を付与するための講習会を実施。

7月

1日 広報紙「宗像地区事務組合だより」7月号発行～通巻50号

10日 海上保安庁・警察・消防夏季合同水難救助訓練

9月

防災の日(9月1日)

救急の日(9月9日)

10月

6日 職員褒章(宗像消防署救急小隊3人)

建物火災において、二階に逃げ遅れとなった女性三人を迅速かつ適切な救助活動により生命を救った功績



16・18・19・26日	署内事務監査 消防本部、各署所の事務監査を実施。
11月	
1日	広報紙「宗像地区事務組合だより」11月号発行～通巻51号
8・9日	第2回防火管理者新規講習会 学校・店舗・事業所等多数の者が勤務し、居住する防火対象物の関係者を集めて、防火管理者の資格を付与するための講習会を実施。
	<u>119番の日(11月9日)</u>
	<u>秋季火災予防運動(9日～15日)</u> 管内の大型店舗(9店舗)の協力のもと、買い物客へ発行しているレシートに防火に関する広報文を印字してもらい、地域住民へ火災予防をPRした。
9日	防火パレード(宗像地区消防本部・消防団) 「火の用心」の“のぼり”を掲げた消防車両で管内を防火パレードし、防火を呼びかけた。
11日	福津市一斉防災訓練 福津市消防団合同火災防ぎょ訓練
19日	宗像市消防団ブラインド訓練 宗像市アスティで宗像市消防団と建物火災を想定したブラインド訓練を実施。
12月	
2日	第46回消防ママさんバレーボール大会
5日	職員褒章(福津消防署救助警防小隊、救急小隊) 救急事案において、心肺停止状態となった男性に対し迅速かつ適切な救命措置により生命を救い、機能障害なく社会復帰につなげた功労
	
25～1月5日	年末年始特別警戒
令和6年 1月	
4日	署内意見発表会
9日	令和6年消防出初式(道の駅むなかた)
10日	職員褒章(赤間出張所警防小隊、救急警防小隊) 救急事案において、心肺停止状態となった女性に対し迅速かつ適切な救命措置により生命を救い、機能障害なく社会復帰につなげた功労
	
	<u>文化財防火デー(1月26日)</u> 1949年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上したことに因んで制定された記念日。
26日	文化財防火デーに伴う火災防ぎょ訓練 八所宮職員、宗像市消防団及び宗像消防署の計62人が参加し、八所宮キャンプ場付近一帯で火災防ぎょ訓練を実施。

2月

1日 防火ポスターコンクール

管内の小学3年生約1,400人を対象に作品を募集。
優秀な作品を春季火災予防運動期間中、市内の大型店舗に展示し火災予防をPRした。

6日 職員褒章(赤間出張所警防小隊)

車両火災において、車外に出られなくなっていた男性を迅速かつ適切な救助活動により生命を救った功績



8日 甲種防火管理再講習を実施

防災設備等の高度化への順応や消防法令の改正の把握など、知識、技能の更新が常に必要であるため、5年ごとに再講習が義務づけられている。

3月

春季火災予防運動(3月1日～7日)

管内の大型店舗(9店舗)の協力のもと、買い物客へ発行しているレシートに防火に関する広報文を印字してもらい、地域住民へ火災予防をPRした。

1日 広報紙「宗像地区事務組合だより」3月号発行～通巻52号

職員の階級別定員および実員

(令和6年4月1日現在)

区分 \ 階級	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
定 員	1	9	12	132				154
実 員	1	10	6	23	53	4	46	143
(うち女性職員)							4	4

※再任用職員(短時間勤務職員)は含まない。

職員の階級別任用、退職状況

(令和5年度)

区分 \ 階級	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
採 用							2	2
昇 任		3	4	4	5	1		17
退 職					1			1

職員の配置状況

(令和6年4月1日現在)

階 級		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
区 分	消 防 長	1							1
	次 長		1						1
消 防 本 部	消防総務課		2	1	2	3		3	11
	予 防 課		1	1	1	2			5
	警 防 課		1		1	1			3
	救 急 課		1	1				1	3
	小 計	1	6	3	4	6		4	24
消 防 署	宗像消防署		2	2	7	20		22	53
	赤間出張所				4	6	2	6	18
	大島分遣所				1	2			3
	福津消防署		2	1	6	16	1	11	37
	津屋崎・玄海出張所				1	3	1	3	8
	小 計		4	3	19	47	4	42	119
合 計		1	10	6	23	53	4	46	143

職員の階級別年齢

(令和6年4月1日現在)

階級 年齢	消 防 吏 員							計	(人)			
	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		1	5	10	15
18												
19							1	1	*			
20							1	1	*			
21							1	1	*			
22							1	1	*			
23							3	3	***			
24							4	4	****			
25							9	9	*****			
26							4	4	****			
27							7	7	*****			
28							2	2	**			
29							3	3	***			
30							4	4	****			
31					1		3	4	****			
32					1		1	2	**			
33					3		1	4	****			
34					2			2	**			
35					3		1	4	****			
36					4	1		5	*****			
37					5	1		6	*****			
38				1				1	*			
39					3	1		4	****			
40				1	5			6	*****			
41				1	3			4	****			
42												
43				2	2			4	****			
44				3	1			4	****			
45			1	1	1			3	***			
46					1			1	*			
47				1	3			4	****			
48					1			1	*			
49				2	5			7	*****			
50		1	1	4	2			8	*****			
51		1	1	2	3			7	*****			
52		2	1					3	***			
53		1	1	2	2			6	*****			
54		1			1			2	**			
55			1		1			2	**			
56		1		1				2	**			
57		1		1				2	**			
58		1		1				2	**			
59	1	1				1		3	***			
60												
計	1	10	6	23	53	4	46		143			
平均 歳月	59.0	54.2	51.0	48.1	42.0	42.8	26.5		39.4			

職員の階級別勤続年数

(令和6年4月1日現在)

階級 年数								計	(人)		
	消防 監	消防司令 長	消防司 令	消防司令 補	消防士 長	消防副 士長	消防 士		0	10	20
0							2	2	**		
1							2	2	**		
2							6	6	*****		
3											
4							4	4	****		
5							7	7	*****		
6							7	7	*****		
7							6	6	*****		
8							9	9	*****		
9							2	2	**		
10											
11					3			3	***		
12					2		1	3	***		
13					5	1		6	*****		
14					3	1		4	****		
15					4			4	****		
16					5	1		6	*****		
17					4			4	****		
18					2			2	**		
19				3	4			7	*****		
20				1	1			2	**		
21			1	3	1			5	*****		
22				2	1			3	***		
23					2			2	**		
24											
25											
26											
27				2	2			4	****		
28			1		2			3	***		
29		1	1		2			4	****		
30		1			6			7	*****		
31				3	1			4	****		
32		1	1	5	1			8	*****		
33				1	2			3	***		
34		3	2					5	*****		
35	1	1		1		1		4	****		
36											
37											
38		1		1				2	**		
39											
40		2		1				3	***		
41											
計	1	10	6	23	53	4	46	143			
平均	35.0	34.6	29.7	27.7	20.2	19.5	5.5	18.2			

職員の資格(講習)取得状況

(令和6年3月31日現在)

種 別 \ 階 級		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
福岡県消防学校	特 殊 災 害 科	3	1	7				11
	予 防 科 (予 防 査 察 科)		2	2	4			8
	危 険 物 科	2		4	2			8
	火 災 調 査 科	1	1	4	5			11
	救 急 科 ・ 救 急 II (標 準) 課 程	9	6	23	46	7	30	121
	救 助 科		1	4	5	2	3	15
	初 級 幹 部 科 A	3		3	16			22
	初 級 幹 部 科 B	4	1	9				14
	中 級 幹 部 科	1	1					2
	上 級 幹 部 科	3						3
	水 難 救 助 教 育				3	1	5	9
	消 防 操 法 指 導 員 研 修	5	2	2				9
	は し ご 自 動 車 等 教 育	6	2	3	6		2	19
	警 防 科	2	2					4
	警 防 実 務 研 修				9		7	16
	陸 上 特 殊 無 線 技 士 II ・ III	9	4	17	22	4		56
福岡県市町村 職員研修所	階 級 (一 般 ・ 係 長 ・ 課 長 ・ 他 研 修)	7	2	12	11	2	1	35
	選 択 研 修	8	5	11	17		10	51
その他	指 導 救 命 士	1	1	3				5
	救 急 救 命 士	2	2	5	21		11	41
	中 型 自 動 車 免 許			5	21	2	35	63
	大 型 自 動 車 免 許	9	5	17	24	5	11	71
	小 型 船 舶	7	4	14	18	2	5	50
	潜 水 士	8	5	13	28	3	14	71
	衛 生 管 理 者	2		3	2			7
	小 型 移 動 式 クレーン 運転 技能 士	5	3	10	19	2	10	49
	予 防 技 術 資 格 認 定 者 (防 火 査 察)	3	3	13	31	3	5	58
	予 防 技 術 資 格 認 定 者 (消 防 用 設 備 等)	2	2	11	12	5	1	33
	予 防 技 術 資 格 認 定 者 (危 険 物)		1	4	10	3	1	19
	ド ロ ー ン 操 縦 資 格 認 定 者		1	5	3		1	10

職員の研修状況

(令和5年度)

種 別 \ 階 級		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
福岡県消防学校	特 殊 災 害 科			2				2
	中 級 幹 部 科		1					1
	水 難 救 助 実 務 研 修						2	2
	救 急 科						2	2
	救 助 科						2	2
	初 級 幹 部 科 (A)				4			4
	初 級 幹 部 科 (B)			2				2
	警 防 実 務						2	2
	予 防 査 察 科				2			2
救 急 救 命 士 養 成 研 修					1			1
救 急 救 命 士 就 業 前 病 院 実 習							3	3
救 急 救 命 士 気 管 挿 管 病 院 実 習								
救 急 救 命 士 病 院 実 習 (再 教 育)				4	18	1	8	31
福岡県市町村職員研修所	給 与 事 務 新 任 者 研 修				1			1
	広 報 紙 作 成 力 向 上 研 修						1	1
	採 用 試 験 面 接 官 の 面 接 力 ア ッ プ 研 修	1						1
	交 渉 力 研 修			1				1
	一 般 職 員 研 修						4	4
	新 任 課 長 研 修	1						1
	新 任 係 長 研 修			2				2
	コ ー チ ン グ 研 修			1				1
	ク レ ー ム 対 応 基 礎 研 修				1			1
	法 制 執 務 基 礎 研 修				1			1
	リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト 研 修		1					1
	ハ ラ ス メ ン ト 防 止 研 修		1					1
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力 向 上 研 修				1			1
福岡県救急医学会救急隊員部会				1	10		3	14
日 本 臨 床 救 急 医 学 会					1			1

消防大学校の教育状況

令和6年3月31日現在

階級			消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
種別	火災調査科					1				1
	上級幹部科			1						1
令和5年度	総合教育	上級幹部科		2						2
		幹部科		3						3
	専科教育	警防科	1	1	2					4
		予防科		1		1				2
		救急科			1					1
		救助科				1				1
		火災調査科		2	1	1				4
	計	火災調査講習会								
		はしご自動車等講習会		3						3
		違反是正講習会								
	合計		1	12	4	3				20

職員の表彰受賞状況

令和6年3月31日現在

階 級 区 分		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
令和 5 年 度	消 防 庁 長 官 功 労 章		1						1
	消防庁長官永年勤続功労章								
	全国消防長会永年勤続表彰			1		6			7
	全国消防協会優良消防職員表彰								
	福岡県知事人命救助功労表彰								
	福岡県知事永年勤続表彰								
累 計	消 防 庁 長 官 功 労 章		1						1
	消防庁長官永年勤続功労章								
	全国消防長会永年勤続表彰	1	9	5	15	17	1		48
	全国消防協会優良消防職員表彰	1							1
	福岡県知事人命救助功労表彰								
	福岡県知事永年勤続表彰	1	9	5	15	17	1		48
		3	19	10	30	34	2		98

訓練・指導等の実施状況

(令和5年度)

種 別 市 別		救急講習	ポンプ操 法 指 導	規律・小隊 訓練等指導	防火・避難 訓練 指 導	署所見学	計
合 計	回 数	88	5	44	154	32	323
	延人数	2,213	63	1,794	15,455	1,324	20,849

職員の教養実施状況

(令和5年度)

教 育 科 目	教 養 内 容	延時間	受 講 者 階 級 別 延 人 員				
			消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
実務研修教養	初任教育を修了した職員に対する教養	45				45	45
機関員教養	機関員の教養及び現在の機関員に対する教養	56	1	25	4	98	128
服 務 教 養	現任職員に対するその職務についての教養	691	234	922	111	1,139	2,406
合 計		792	235	947	115	1,282	2,579

消 防 力 の 状 況

常備消防の状況

(令和6年4月1日現在)

区 分			車 両 等			人 員			
			算 定 数	現 有 台 数	不 足 数	算 定 数 a	現 有 人 員 b	不足数	充足率 (%)
								対 算 定 a-b	対 算 定 b/a
警 防 要 員	消 防 隊 員	指 揮 車	2	2		18	115	30	79.3
		消 防 ポンプ自動車	6	6		76			
		化 学 消 防 車	1	1		15			
		は し ご 自 動 車	1	1		乗換運用			
		小型動力ポンプ付 積 載 車	1	1		3			
	救 急 隊 員	救 急 自 動 車	6	6		18			
	救 助 隊 員	救 助 工 作 車	1	1		15			
小 計			18	18		145	115	30	79.3
本 部 要 員	専 任 の 予 防 要 員					22	5	※毎日勤務者のみ	
	通 信 室 勤 務 員 (通信員は福岡市消防局に事務委託)					6	2		
	庶 務 の 処 理 等 の 人 員					22	21		
小 計						50	28		
合 計						195	143	52	73.3

※再任用職員除く

面積・人口および世帯数に対する常備消防力

(令和6年4月1日現在)

区 分	消 防 職 員 一 人 当 た り	消 防 ポ ン プ 自 動 車 一 台 当 た り	救 急 自 動 車 一 台 当 た り
人 口 (165,535人)	1,158 人	23,648 人	27,589 人
世 帯 数 (75,083世帯)	525 世帯	10,726 世帯	12,514 世帯
面 積 (172.7Km ²)	1.21 km ²	24.67 km ²	28.78 km ²

※ 消 防 職 員 143 人
 消 防 ポ ン プ 車 7 台 (化学車含む)
 救 急 車 6 台

消防団の現況

(令和6年4月1日現在)

動 力 消 防 ポ ン プ 算 定 数				動 力 消 防 ポ ン プ 整 備 数	
消 防 ポ ン プ 車 数 (台)		手 引 ・ 小 型 動 力 ポ ン プ 数 (口)		消 防 ポ ン プ 車 数 (台)	手 引 ・ 小 型 動 力 ポ ン プ 数 (口)
国	市町村	国	市町村	28	14
5	28	13	38		

財政の状況

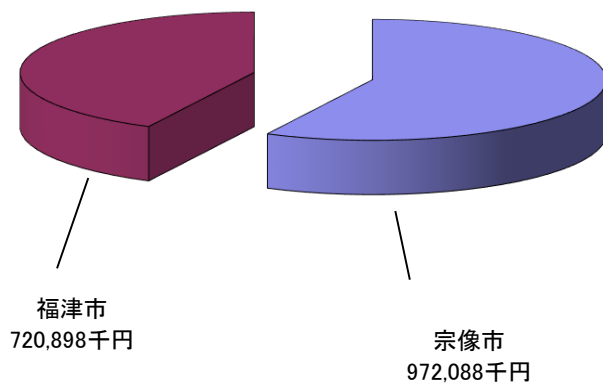
令和5年度決算(見込み)における構成市消防負担金 (単位：千円)

1,692,986千円

(構成市の負担金)

地方交付税法により算定される構成市の当該年度の基準財政需要額のうち消防費の算定方法に準じて算定した額で、常備消防費に相当する額

宗像市 57.4%
福津市 42.6%



過去3年間ににおける消防負担金状況

(単位：千円)

		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算(見込み)
消防費基準財政需要額(A)		2,154,040	2,111,688	2,141,067
消防負担金	宗 像 市	990,415	1,008,422	972,088
	福 津 市	737,314	750,745	720,898
	合 計 (B)	1,727,729	1,759,167	1,692,986
消防費基準財政需要額に占める消防負担金割合(B/A)		80.2%	83.3%	79.1%

※(参考) 単位費用

11,700円

11,500円

11,600円

令和6年度宗像地区事務組合一般会計当初予算

歳入

(単位：千円)

款	項	当初予算額
1. 分担金及び負担金	1. 負担金	1,940,533
	内 消防負担金	1,731,312
2. 使用料及び手数料	1. 使用料	1,203
	2. 手数料	502
3. 国庫支出金	1. 国庫補助	1
4. 財産収入	1. 財産運用収入	3
5. 繰入金	1. 基金繰入金	31,895
6. 繰越金	1. 繰越金	2,400
7. 諸収入	1. 預金利子	1
	2. 雑入	27,859
8. 組合債	1. 組合債	618,300
歳入合計		2,622,697

歳出

(単位：千円)

款	項	当初予算額
1. 議会費	1. 議会費	4,048
2. 総務費	1. 総務管理費	53,186
	2. 監査委員費	647
3. 衛生費	1. 保健衛生費	17,031
	2. 清掃費	452,944
4. 消防費	1. 消防費	1,958,830
5. 公債費	1. 公債費	130,914
6. 予備費	1. 予備費	5,100
歳出合計		2,622,700

令和4年度消防費決算額と一般会計決算額との比較

(単位：千円)

	一般会計決算額	消防費決算額	比較 消防費／一般
宗像市	41,971,204	1,168,514	2.8%
福津市	28,735,944	878,576	3.1%
合計	70,707,148	2,047,090	2.9%

令和4年度消防費決算と消防費基準財政需要額

(単位：千円)

区 分 市 別	消防費基準 財政需要額 (調整後) (A)	決 算 額			基準財政需要額に 占める決算額の割合 (B / A)
		常備消防費 負担金	非 常 備 消 防 費	計 (B)	
宗 像 市	1,210,500	1,008,422	160,092	1,168,514	96.5%
福 津 市	901,188	750,745	127,832	878,577	97.5%
合 計	2,111,688	1,759,167	287,924	2,047,091	96.9%

※ 基準財政需要額＝消防単位費用 × 測定単位(人口) × 補正係数

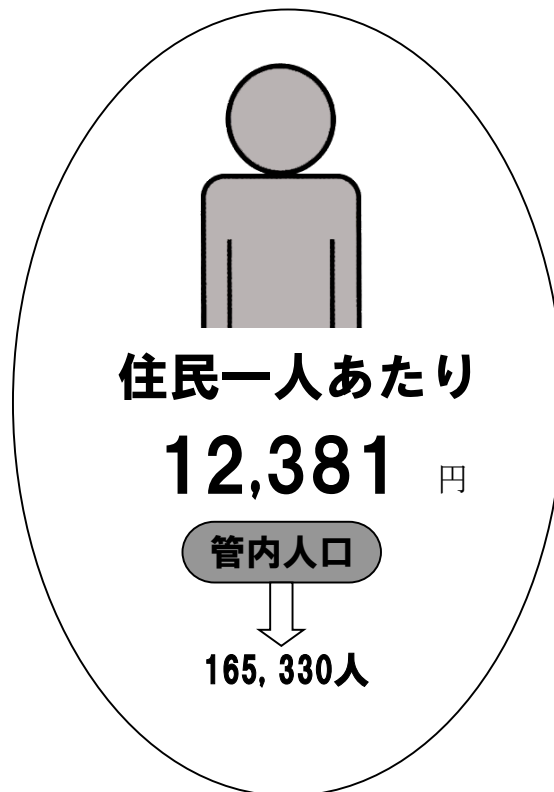
人口一人当たりの消防費 12,381 円

一世帯当たりの消防費 27,567 円

※ 人 口 165,330 人

世帯数 74,260 世帯

(令和5年3月31日現在)



防火対象物の現状

(令和6年3月31日現在)

用 途		市 別	宗 像 市	福 津 市	計
(1)	イ 劇場・映画館等		1	1	2
	ロ 公会堂・集会場等		81	57	138
(2)	イ キャバレー・カフェー等				
	ロ 遊技場・ダンスホール等		5	1	6
	ハ 性風俗関連店舗等				
	ニ カラオケボックス等		1		1
(3)	イ 待合・料理店等				
	ロ 飲食店等		46	34	80
(4)	百貨店・マーケット等		103	69	172
(5)	イ 旅館・ホテル等		38	5	43
	ロ 寄宿舍・共同住宅等		824	511	1,335
(6)	イ 病院・診療所等		59	48	107
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等		43	29	72
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等		70	50	120
	ニ 幼稚園・特別支援学校		8	9	17
(7)	小学校・中学校等		91	38	129
(8)	図書館・博物館等		4	2	6
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等		1		1
	ロ イ以外の公衆浴場等				
(10)	車両の停車場等		3	2	5
(11)	神社・寺院等		82	36	118
(12)	イ 工場・作業場等		158	94	252
	ロ 映画・テレビスタジオ等				
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場		19	13	32
	ロ 飛行機等の格納庫		1		1
(14)	倉庫		131	93	224
(15)	前各項以外の事業場		331	190	521
(16)	イ 複合用途対象物(特定)		201	148	349
	ロ イ以外の複合用途(非特定)		122	105	227
(16の2)	地下街				
(16の3)	準地下街				
(17)	重要文化財等		3		3
(18)	50m以上のアーケード				
(19)	指定山林				
(20)	総務省令で定める舟車				
合 計			2,426	1,535	3,961

消防用設備等の設置状況

(令和6年3月31日現在)

消防用設備等 用 途		消 火 設 備				警 報 設 備			避難設備		連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト 設 備
		屋 内 消 火 栓 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備 等	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯		
(1)	イ 劇場・映画館等					1		2		1		
	ロ 公会堂・集会場等	6			1	34	2	33	10	46		
(2)	イ キャバレー・カフェー等											
	ロ 遊技場・ダンスホール等	1		1	1	6		4	1	6	1	
	ハ 性風俗関連店舗等											
	ニ カラオケボックス等					1			1	1		
(3)	イ 待合・料理店等											
	ロ 飲食店等	1				20	3	32	6	42		
(4)	百貨店・マーケット等	20	1	12	10	97		38	3	108		
(5)	イ 旅館・ホテル等	8		1		44	7	7	17	38	2	1
	ロ 寄宿舍・共同住宅等	48		24	26	302	17	103	197	37	128	56
(6)	イ 病院・診療所等	7		20	2	62	5	17	17	92	1	
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等			72		75	1	7	20	70	1	
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	12		2	2	79	1	8	22	66		
	ニ 幼稚園・特別支援学校					15	2	3	4	9		
(7)	小学校・中学校等	85				120		42	14	14	1	
(8)	図書館・博物館等	2			1	4		1		2		
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	1				1		1		1		
	ロ イ以外の公衆浴場等											
(10)	車両の停車場等					3						
(11)	神社・寺院等	2				8	4	21	2	5		
(12)	イ 工場・作業場等	19	3		4	82		1	3	15	1	
	ロ 映画・テレビスタジオ等											
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場				6	6				2		
	ロ 飛行機等の格納庫				1	1				1		
(14)	倉庫	13				51				4		
(15)	前各項以外の事業場	20			3	71	2	65	8	43	1	
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	10		25	7	144	2	53	35	126	7	2
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	2			3	30		22	11	18	4	
(16の2)	地下街											
(16の3)	準地下街											
(17)	重要文化財等					3						
合 計		257	4	157	67	1,260	46	460	371	747	147	59

防火管理者を必要とする事業所の状況

(令和6年3月31日現在)

用 途		市 別		福 津 市		計	
		宗 像 市		甲	乙	甲	乙
(1)	イ 劇場・映画館等						
	ロ 公会堂・集会場等	24	54	17	39	41	93
(2)	イ キャバレー・カフェー等						
	ロ 遊技場・ダンスホール等	5		1		6	
	ハ 性風俗関連店舗等						
	ニ カラオケボックス等	1				1	
(3)	イ 待合・料理店等						
	ロ 飲食店等	11	25	9	14	20	39
(4)	百貨店・マーケット等	58	11	31	6	89	17
(5)	イ 旅館・ホテル等	18	1	7		25	1
	ロ 寄宿舍・共同住宅等	161		110		271	
(6)	イ 病院・診療所等	15		11		26	
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	29		29		58	
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	30	5	25	7	55	12
	ニ 幼稚園・特別支援学校	5		5		10	
(7)	小学校・中学校等	24		13		37	
(8)	図書館・博物館等	1		1		2	
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等						
	ロ イ以外の公衆浴場等						
(10)	車両の停車場等						
(11)	神社・寺院等	15	2	7	4	22	6
(12)	イ 工場・作業場等	10	1	4		14	1
	ロ 映画・テレビスタジオ等						
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場						
	ロ 飛行機等の格納庫						
(14)	倉庫	2		2		4	
(15)	前各項以外の事業場	34	19	18	15	52	34
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	104	19	69	14	173	33
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	23	3	18		41	3
(17)	重要文化財等	3				3	
合 計		573	140	377	99	950	239

防火対象物の予防査察状況

(令和5年度)

市 別 用 途		査 察 対 象 物 数	査 察 数		
			宗 像 市	福 津 市	計
(1)	イ 劇場・映画館等				
	ロ 公会堂・集会場等	11	11	3	14
(2)	イ キャバレー・カフェー等				
	ロ 遊技場・ダンスホール等	5	3	1	4
	ハ 性風俗関連店舗等				
	ニ カラオケボックス等	1	1		1
(3)	イ 待合・料理店等				
	ロ 飲食店等	1	2		2
(4)	百貨店・マーケット等	41	26	14	40
(5)	イ 旅館・ホテル等	36	21	5	26
	ロ 寄宿舍・共同住宅等		3	1	4
(6)	イ 病院・診療所等	24	20	13	33
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	51	36	29	65
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	48	25	16	41
	ニ 幼稚園・特別支援学校	3	2	3	5
(7)	小学校・中学校等	3	36	1	37
(8)	図書館・博物館等		2	1	3
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等		1		1
	ロ イ以外の公衆浴場等				
(10)	車両の停車場等				
(11)	神社・寺院等	1	5	2	7
(12)	イ 工場・作業場等	7	4		4
	ロ 映画・テレビスタジオ等				
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場		2		2
	ロ 飛行機等の格納庫				
(14)	倉庫	1	4	3	7
(15)	前各項以外の事業場		10	4	14
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	63	38	20	58
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	3	2	1	3
(16の2)	地下街				
(16の3)	準地下街				
(17)	重要文化財等	2	3		3
合 計		301	257	117	374

建築同意事務処理状況

(令和5年度)

市 別		宗 像 市	福 津 市	計
用 途				
(1)	イ 劇場・映画館等			
	ロ 公会堂・集会場等		1	1
(2)	イ キャバレー・カフェー等			
	ロ 遊技場・ダンスホール等			
	ハ 性風俗関連店舗等			
	ニ カラオケボックス等			
(3)	イ 待合・料理店等			
	ロ 飲食店等	2		2
(4)	百貨店・マーケット等	1	1	2
(5)	イ 旅館・ホテル等	1		1
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	7	8	15
(6)	イ 病院・診療所等		1	1
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	5		5
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	1	1	2
	ニ 幼稚園・特別支援学校			
(7)	小学校・中学校等	3	1	4
(8)	図書館・博物館等			
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等			
	ロ イ以外の公衆浴場等			
(10)	車両の停車場等			
(11)	神社・寺院等	2		2
(12)	イ 工場・作業場等	1	4	5
	ロ 映画・テレビスタジオ等			
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場		1	1
	ロ 飛行機等の格納庫			
(14)	倉庫	3	2	5
(15)	前各項以外の事業場	5	4	9
(16)	イ 複合用途対象物(特定)		2	2
	ロ イ以外の複合用途(非特定)			
(16の2)	地下街			
(16の3)	準地下街			
(17)	重要文化財等			
	令 別 表 外	24	33	57
合 計		55	59	114

中高層建築物（5階以上）の現状

（令和6年3月31日現在）

市 別	階 別	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階	計
宗 像 市		90	31	25	15	7	11	10	4	6	8	2	209
福 津 市		34	9	9	4	4	13	10	13	2	3	1	102
合 計		124	40	34	19	11	24	20	17	8	11	3	311

用 途	階 別	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階	計
(1) イ 劇場・映画館等													
ロ 公会堂・集会場等		1											1
(2) イ キャバレー等													
ロ 遊技場等				1									1
ハ 性風俗関連店舗等													
ニ カラオケボックス等													
(3) イ 待合・料理店等													
ロ 飲食店等													
(4) 百貨店・店舗等		1											1
(5) イ 旅館・ホテル等		3	1				1			1			6
ロ 寄宿舍・共同住宅等		103	22	23	14	9	19	19	17	7	10	2	245
(6) イ 病院・診療所等		1	1				1						3
ロ グループホーム・有料老人ホーム等			1			1							2
ハ デイサービス・軽費老人ホーム等			1										1
ニ 幼稚園・特別支援学校													
(7) 小学校・中学校等		2											2
(8) 図書館・博物館等													
(9) イ 蒸気・熱気浴場等													
ロ イ以外の公衆浴場等													
(10) 車両の停車場等													
(11) 神社・寺院等													
(12) イ 工場・作業場等		1											1
ロ 映画・スタジオ等													
(13) イ 自動車車庫又は駐車場													
ロ 飛行機等の格納庫													
(14) 倉庫													
(15) 前各項以外の事業場				1									1
(16) イ 複合用途対象物		7	12	3	5			1				1	29
ロ イ以外の複合用途(非特定)		5	2	6		1	3				1		18
(17) 重要文化財等													
合 計		124	40	34	19	11	24	20	17	8	11	3	311

工事整備対象設備等着工届事務処理状況

(令和5年度)

区 分 \ 市 別	宗 像 市	福 津 市	計
屋内消火栓設備	6	2	8
スプリンクラー設備	4	4	8
泡消火設備			
粉末消火設備		1	1
屋外消火栓設備			
自動火災報知設備	40	22	62
消防機関へ通報する火災報知設備		5	5
避難器具		3	3
パッケージ型消火設備		1	1
合 計	50	38	88

法令に基づく届出処理状況

(令和5年度)

区 分 \ 市 別	宗 像 市	福 津 市	計
防火管理者選任・解任届出	144	137	281
消防計画の届出	154	140	294
防火対象物使用開始届出	129	74	203
変電設備設置届出	11	1	12
発電設備設置届出	2		2
蓄電池設備設置届出	4	1	5
ネオン管設備設置届出			
催物開催届出			
ボイラー設置届出	6	1	7
圧縮アセチレン等の貯蔵又は取扱いの開始届出	22	10	32
少量危険物設置届出	1	1	2
水素ガスを充てんする気球設置届出			
合 計	473	365	838

危険物施設の現況

(令和6年3月31日現在)

製造所等の区分		市 別	宗 像 市	福 津 市	計
貯蔵所	危険物屋内貯蔵所		8	3	11
	危険物屋外貯蔵所		1	2	3
	危険物屋内タンク貯蔵所		2	2	4
	危険物屋外タンク貯蔵所		13	2	15
	危険物地下タンク貯蔵所		25	19	44
	危険物簡易タンク貯蔵所				
	危険物移動タンク貯蔵所		13	9	22
取扱所	危険物給油取扱所		36	13	49
	危険物一般取扱所		10	6	16
	危険物販売取扱所		2		2
合 計			110	56	166

危険物施設立入検査実施状況

(令和5年度)

製造所等の区分		市 別	宗 像 市	福 津 市	計
貯蔵所	危険物屋内貯蔵所		1	3	4
	危険物屋外貯蔵所			2	2
	危険物屋内タンク貯蔵所			1	1
	危険物屋外タンク貯蔵所		4	1	5
	危険物地下タンク貯蔵所		15	13	28
	危険物簡易タンク貯蔵所				
	危険物移動タンク貯蔵所		13	9	22
取扱所	危険物給油取扱所		25	12	37
	危険物一般取扱所		6	2	8
	危険物販売取扱所		1		1
合 計			65	43	108

危険物規制事務処理状況

(令和5年度)

市 別 事 務 別			宗 像 市	福 津 市	計
許 可 ・ 認 可	小 計		24	25	49
	設 置	許 可	4		4
		完 成	4		4
	変 更	許 可	5	8	13
		完 成	5	8	13
	仮 使 用		3	8	11
	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱				
	予 防 規 程		1	1	2
	前 完 成 成 検 検 査 査	水 張			
		水 圧	2		2
届 出	小 計		38	28	66
	変 更		28	22	50
	種 類 数 量 変 更		3		3
	譲 渡 ・ 引 渡		1		1
	廃 止		2		2
	使 用 休 止 再 開				
	保 安 監 督 者 選 解 任		4	6	10
	事 故 発 生				
	許 可 証 等 再 交 付				
	申 請 取 り 下 げ				

宗像地区防災協会

防災体制の強化推進及び会員相互の融和と協調をはかり、災害の防止に努め、もって事業所の健全な発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

令和6年度 会 長 吉武 大作
副会長 原口 幸聖
副会長 伊規須 清貞
副会長 神島 亘
会員数134事業所
(令和6年6月30日現在)

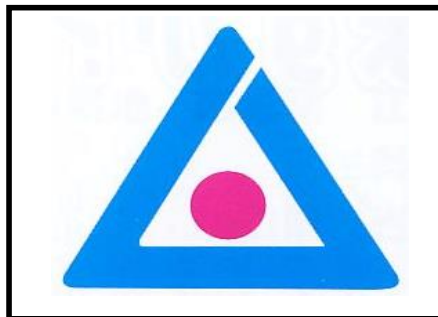
防 災 協 会 の 組 織

宿 泊 施 設 部 会

塗 料 販 売 部 会

LPガス販売部会

石 油 販 売 部 会



赤い円は、太陽・火災等を意味し、災害を防ぐように「ム」の字が回りを囲んでいる。また、円を中心よりわずか下方へずらすことによって人の頭を意味し「ム」は災害をシャットアウトしようとする「手」を意味する。「ム」は災害無しの「無」である。

工 場 部 会

病 院 等 部 会

大 型 店 舗 部 会

事 業 所 部 会

特 別 会 員 部 会



定例総会

令和5年度の主な活動

- 危険物取扱者試験受験準備講習会 (5月、10月、2月)
- 定例総会(6月)
- 甲種防火管理新規講習(6月、10月)
- 会員研修会(6月、11月)
- 火災予防運動期間中の火災予防啓発活動
防火横断幕の掲示、防火チラシ等の配布(11月、3月)
- 「防災とボランティアの日」に伴う防災訓練(1月)
- 会報「防災むなかた」発刊(1月)
- 幼年消防クラブへの防火ハッピー贈呈(2月)



幼年消防クラブへの
防火ハッピー贈呈



甲種防火管理新規講習



「防災とボランティアの日」
防災訓練



会員研修会(普通救命講習Ⅰ)



火災予防啓発活動

宗像地区幼少年婦人防火委員会

防災防火意識の高揚を図り、防火知識の普及に努めるため、民間の防火組織として地域に密着した幼年消防クラブ・少年消防クラブ・婦人防火クラブ、あるいは地域の自主防災組織の運営指導について、研究及び助言するとともにクラブの健全な育成発展に寄与することを目的とする。

幼 年 消 防 ク ラ ブ

幼稚園、保育園の園児で結成され、正しい火の取り扱い方などについて、園独自の指導計画を立て、自主的に活動するとともに防災行事に積極的に参加しています。

少 年 消 防 ク ラ ブ

少年のころから学校や家庭における火災予防に関する知識を身につけさせるために結成され、防火夜回り等の防災行事に積極的に参加し、活発な活動を行っています。



少年消防クラブ員章

婦 人 防 火 ク ラ ブ

防災は「わが家から」を合言葉に、家庭の主婦で結成され、防火教室や救命講習会を開催し、家庭や地域の災害予防に積極的に活躍しています。

令和5年度の主な行事

宗像地区幼少年婦人防火委員会 「定例会」



- 福津市女性防火クラブ
「定例総会」(6月)
- 宗像地区幼少年婦人防火委員会
「定例会」(8月)
- 岬地区少年消防クラブ
「防火書道」「防火教室」(11月)
- 宗像地区婦人防火クラブ
第46回消防ママさんバレーボール大会(11月)
- 福津市女性防火クラブ
役員研修会(12月)

幼年消防クラブ 「出初式参画」



宗像地区婦人防火クラブ 「消防ママさんバレーボール大会」



- 幼年消防クラブ
出初式参画(1月)

岬地区少年消防クラブ 「防火書道」「防火夜回り」



防火団体構成表

(令和6年4月1日現在)

区 分	市 別	名 称	設立年月日	クラブ員数
婦 人	宗像地区	宗像地区婦人防火クラブ	S63.11.27	146
	福 津 市	福津市女性防火クラブ	H19.5.1	84
	小 計			230
少 年	宗像地区	岬地区少年消防クラブ	S59.4.22	32
	小 計			32
幼 年	宗像市	博多のびっこ幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.15	284
		日の里幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.20	189
		赤間くるみ幼稚園幼年消防クラブ	S61.10.30	239
		浄徳寺幼稚園幼年消防クラブ	S63.10.1	233
		東海大学付属自由ヶ丘幼稚園幼年消防クラブ	S63.10.1	317
		赤間保育園幼年消防クラブ	R5.10.1	220
		第二赤間保育園幼年消防クラブ	R5.11.1	143
		日の里東保育園幼年消防クラブ	R5.12.1	159
		野ばら保育園幼年消防クラブ	R5.12.1	113
		平等寺保育園幼年消防クラブ	R5.12.1	172
		かとう保育園幼年消防クラブ	R5.12.1	119
		かとう西保育園幼年消防クラブ	R5.12.1	125
		玄海ゆりの樹幼稚園幼年消防クラブ	R5.12.1	265
		ひかり幼稚園幼年消防クラブ	R6.1.1	110
		恵愛保育園幼年消防クラブ	R6.4.1	103
	福 津 市	しらぎく幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.14	345
		聖愛幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.14	206
		光明幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.15	116
		神興幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.21	34
		若木台幼稚園幼年消防クラブ	S61.11.12	222
		孝明保育園幼年消防クラブ	H2.1.10	25
		津屋崎保育園幼年消防クラブ	H2.1.11	139
		大和保育所幼年消防クラブ	H2.2.5	145
		真愛保育園幼年消防クラブ	H2.6.1	92
		双葉保育所幼年消防クラブ	H25.4.1	131
		ひがしふくま真愛保育園幼年消防クラブ	H3.9.20	92
		いろどり真愛保育園幼年消防クラブ	H23.4.1	150
		こうみょうの丘幼年消防クラブ	H28.4.1	80
		福津いくみ保育園幼年消防クラブ	H30.12.26	164
		光明の郷幼稚園幼年消防クラブ	R2.3.20	58
		日蔭野あおぞら保育園幼年消防クラブ	R5.9.1	143
		小 計		
合 計				5,195

現有車両の諸性能

(令和6年4月1日現在)

区分 車名	車種	型式	ポンプ形式	級式	無線局	登録年月日	備考
タンク1	水槽付消防ポンプ自動車	日野 2KG-GX2ABA	モリタ MZI	A2	有	R.1.12.12	圧縮空気泡消火装置搭載型 4WD 水1,400ℓ(Ⅰ-A型) 【緊援隊登録】
ポンプ2	消防ポンプ自動車	日野 2RG-XZU640M	モリタ MZI	A2	有	R4.10.14	圧縮空気泡消火装置搭載型 水600ℓ(CD-Ⅰ型)
タンク3	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ PB-FRS35G3J 改	モリタ ME-5	A2	有	H18.12.13	4WD 水 1,500ℓ(Ⅰ-A型)
ポンプ4	消防ポンプ自動車	日野 TPG-XZU640M	モリタ MZI	A2	有	H29.12.4	圧縮空気泡消火装置搭載型 水600ℓ(CD-Ⅰ型)
タンク5	水槽付消防ポンプ自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	日本機械 R-3	A2	有	H23.2.22	水 2,000ℓ(Ⅱ型)
ポンプ6	消防ポンプ自動車	日野 TPG-XZU640M	モリタ MZI	A2	有	H29.12.4	圧縮空気泡消火装置搭載型 水600ℓ(CD-Ⅰ型)
タンク7	水槽付消防ポンプ自動車	日野 2KG-GX2ABA	モリタ MZI	A2	有	R2.10.20	圧縮空気泡消火装置搭載型 4WD 水1,400ℓ(Ⅰ-A型) 【緊援隊登録】
ポンプ8	小型動力ポンプ付積載車	ダイハツ EBD-S331W	トーハツ VF53AS	B3	有	H26.12.22	4WD
ポンプ9	消防ポンプ自動車	日野 KK-XZU331M	日本機械 R-3	A2	有	H14.1.25	(CD-Ⅰ型)
化学1	化学消防ポンプ自動車	日野 SDG-GD7JGAA改	モリタ ME-5	A2	有	H28.1.15	水 1,500ℓ 薬液 500ℓ(Ⅱ型)
梯子1	はしご付消防ポンプ自動車	日野 QDG-PR1APEF			有	H28.10.21	30m 屈折梯子付
救助1	救助工作車	日野 2KG-GX2ABA			有	H30.12.26	4WD (Ⅱ型) 【緊援隊登録】
救急1	高規格救急自動車	トヨタ 3BF-TRH226S			有	R4.4.21	4WD ※株式会社木村組より寄贈
救急2	高規格救急自動車	ニッサン CBF-CS8E26改			有	R3.12.8	4WD
救急3	高規格救急自動車	ニッサン 3BF-CS8E26改			有	R5.10.3	4WD ※宗像市民より寄贈
救急4	高規格救急自動車	トヨタ 3BF-TRH226S			有	R2.11.4	4WD
救急5	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H31.3.4	4WD 【緊援隊登録】
救急6	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H28.3.17	4WD ※株式会社木村組より寄贈
救急7	高規格救急自動車	トヨタ 3BF-TRH226S			有	R2.11.4	4WD 【緊援隊登録】
指令1	指令車	ニッサン DBA-NT32			有	H31.1.17	4WD
指揮1	指揮車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H30.2.2	ストレッチャー式指揮機 4WD
乗用車	乗用車	ニッサン DAA-HC27			無	H30.10.23	
査察車	査察車	スズキ HBD-DA17V			無	H29.6.23	4WD
輸送1	人員輸送車	トヨタ SDG-XZB50			有	H25.2.21	乗車定員21人 【緊援隊登録】
支援1	支援車	ニッサン DBA-NT31			有	H26.2.24	4WD
支援2	支援車	トヨタ CBF-TRH200V			無	H29.12.5	
搬送1	資機材搬送車	トヨタ KK-XZU362			有	H15.8.29	4WD
搬送2	資機材搬送車	ダイハツ 3BD-S510P			無	R3.2.15	4WD
事務連絡1	事務連絡車	ニッサン DBA-Y12			無	H27.8.26	
事務連絡2	事務連絡車	ダイハツ 3BD-S321V			無	R3.6.17	
事務連絡3	事務連絡車	ニッサン HBD-DR17V			無	R2.6.19	

いろいろな消防ポンプ自動車

圧縮空気泡消火装置搭載型
消防ポンプ自動車



圧縮空気を利用し泡を生成する装置及び水600ℓを積載しており、少量の水で効率の良い泡消火を行います。

化学消防ポンプ自動車



主に油脂火災の消火活動を目的にした消防車で、1,500ℓの水と500ℓの泡消火薬剤を積載しています。

はしご付消防ポンプ自動車



主に高所での消防活動を容易にするための車両で、火災時等ビルの高層階に取り残された人の救出や高所からの放水活動等を行います。(30m屈折梯子付き)

指揮自動車



ストレッチャー式指揮機、ノートパソコン、プリンターなど、数多くの資機材を積載しており、迅速で効率の良い指揮活動が可能となります。

救 助 工 作 車



火災救急等各種の災害現場で救助活動を目的にした消防車で、空気呼吸器やレスキューカッター・照明装置など各種救助資機材を積載しています。

消防車両等の配置状況

(令和6年4月1日)

区分	本部・署所別	本 部	宗 像 署	赤間出張所	福 津 署	津屋崎・玄海出張所	大島分遣所	合計
消 防 ポ ン プ 自 動 車			2	1	1			4
水槽付消防ポンプ自動車			1	1	1	1		4
化学消防ポンプ自動車			1					1
はしご付消防ポンプ自動車			1					1
救 助 工 作 車			1					1
高規格救急自動車			3	1	2	1		7
指 令 車					1			1
指 揮 車			1					1
小型動力ポンプ付積載車							1	1
乗 用 車		1						1
査 察 車		1						1
事 務 連 絡 車		2			1			3
人 員 輸 送 車			1					1
支 援 車			2					2
資 機 材 搬 送 車		1	1					2
合 計		5	14	3	6	2	1	31

いろいろな救助資機材

空気呼吸器



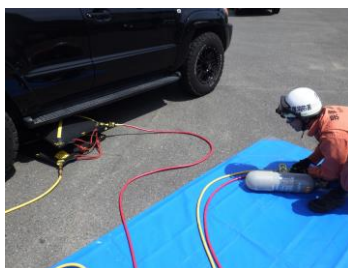
各種災害現場で、煙、有毒ガス、酸素欠乏環境から消防隊員を保護する「空気呼吸器」は、消防活動に欠かすことのできない重要な資機材です。

大型油圧式救助器具



バッテリー式の電動油圧救助器具で、持ち上げ、広げ、押さえつけ、引っ張り、締めつけ、切断の操作ができ、交通事故などの人命救助活動に使用します。

マット型空気ジャッキ



空気ポンプ、ホース、マット等を用いて、重量物の持ち上げや変形したドアの開放などに使用します。

エンジンカッター



ガソリン駆動式のパワーカッターで、ブレードを交換することにより、鉄、木材、ガラス等、多様な素材を素早く切断することができる万能型器具です。

ドローン(無人航空機)



災害現場において、迅速で広範囲な情報収集を行うことができ、特に隊員の進入が困難な場所で効果を発揮します。

携帯型CAFS消火システム



CAFS(圧縮空気泡)機能及びミスト噴霧消火機能を備えた携帯型の消火装置で、様々な種類の火災に対応しており、火災を初期の段階で一気に制圧します。

救助資機材の配置状況

(令和6年4月1日現在)

区 分		署所別	宗像署	赤 間 出張所	福津署	津屋崎・ 玄海出張所	大 島 分遣所	合計
一般救助器具	三連はしご		2	1	1	1		5
	救命索発射銃		2					2
重量物排除用器具	可搬ウインチ		2		1			3
	マット型空気ジャッキ		1		1			2
	大型油圧スプレッダー		2		1			3
切断用器具	エンジンカッター		2		1	1		4
	酸素溶断機		1					1
	チェーンソー		5	1	2	2	1	11
	空気鋸(電池式含む)		3		2			5
	大型油圧切断機		1		1			2
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器		2	1	1	1	1	6
	有毒ガス測定器		1					1
	放射線測定器		15					15
呼吸保護用器具	空気呼吸器		21	7	8	3	1	40
	送排風機		1					1
破壊用器具	削岩機		3					3
検索用器具	熱画像直視装置		6	1	3	1		11
水難救助用器具	潜水用具一式		10					10
	水中テレビカメラ		1					1
	救命用ボート		2		1			3
	救命胴衣		16	6	9	4	3	38

消防水利の現況

(令和6年4月1日現在)

水利区分 市 別	消火栓	防 火 水 槽					合 計
		小 計	100t以上	60t以上100t未満	40t以上60t未満	40t未満	
宗 像 市	967	444	27	148	250	19	1,411
福 津 市	782	275	8	180	61	26	1,057
計	1,749	719	35	328	311	45	2,468

いろいろな救急資器材

気道確保器具



救急救命士が、心肺機能停止状態の傷病者に対して、医師の具体的指示を受けて、使用する気道確保器具で、口から肺までの空気の通り道を確認することができます。

監視モニター(患者監視装置)



傷病者の心電図や心拍数、血圧、血液中の酸素飽和濃度を測定し、傷病者の状態を継続的に観察することができます。

脊椎固定具



交通事故などにより、脊椎損傷の可能性がある傷病者に対して、全身を固定することにより脊椎の動揺を防ぐことができます。

自動体外式除細動器(AED)



高性能の心電図自動解析装置を内蔵しており、心臓が停止状態の傷病者に対して、効果的な電気ショックを与えることができます。

電動吸引器



傷病者の口腔内または鼻腔内の嘔吐物や血液などを吸引することができます。

自動式心マッサージ器



心肺停止状態の傷病者に対し、安定した深さと頻度の絶え間ない胸骨圧迫心臓マッサージによって、自己心拍再開に繋がる効果的な心肺蘇生法を行うことができます。

救急資器材の配置状況

(令和5年4月1日現在)

区分 \ 署所別	宗 像 署	福 津 署	赤間出張所	津屋崎・ 玄海出張所	合 計
外 傷 バ ッ グ	3	2	1	1	7
手 動 式 人 工 呼 吸 器	3	2	1	1	7
人 工 呼 吸 器	3	2	1	1	7
はさみ(レスキューシーザー)	3	2	1	1	7
喉 頭 鏡・マギール鉗子	3	4	2	2	11
自 動 式 心 肺 蘇 生 器	3	2	1	1	7
頸椎固定具(ファernoケット)	3	2	1	1	7
頸椎固定具(ヘッドイモビライザー)	3	2	1	1	7
骨盤固定スリング(サムスリング)	3	2	1	1	7
電 動 吸 引 器 一 式	3	2	1	1	7
ド ア オ ー プ ナ ー	3	2	1	1	7
聴 診 器	1	2	1	1	5
ウ イ ン ド ポ ン チ	3	2	1	1	7
ボ ル ト ク リ ッ パ ー	3	2	1	1	7
患 者 監 視 装 置	3	2	1	1	7
血 糖 測 定 器	3	2	1	1	7
カ プ ノ メ ー タ ー	3	2	1	1	7
血圧計(携帯用アネロイド)	3	2	1	1	7
レ ス キ ュ ー セ ッ ト	3	2	1	1	7
AED(自動体外式除細動器)	3	2	1	1	7
バ ッ ク ボ ー ド 一 式	3	2	1	1	7
携帯用酸素飽和度測定器	3	2	1	1	7
スクープストレッチャー	3	2	1	1	7

令和5年中の火災概況

1 出火件数

令和5年中の出火件数は44件であり、前年に比べ16件減少しています。
火災種別ごとの件数をみると、「建物火災」が25件と最も多く、出火件数の56.8%を占め、「その他の火災」13件（29.6%）、「林野火災」4件（9.1%）「車両火災」2件（4.5%）となっています。
これらの出火件数を前年と比べると、「建物火災」3件増加、「その他の火災」12件減少、「林野火災」4件減少、「車両火災」3件減少となっています。

2 火災の損害・死傷者の状況

令和5年中の建物焼損棟数は33棟となり、前年に比べ7棟減少しています。焼損床面積については、813平方メートルで、前年に比べ705平方メートル減少しています。

令和5年中の火災による損害額は、182,273千円で、前年に比べ91,984千円増加しています。

令和5年中の火災による死傷者数は、死者については2人で、前年に比べ1人増加（自損行為によるものを除く）。負傷者については11人で、昨年に比べ6人増加し

3 出火原因

令和5年中の出火件数44件のうち、出火原因については「たき火」が11件（25%）、「こんろ」が4件（9.1%）、「電気機器」「放火の疑い」がそれぞれ3件（6.8%）で上位を占めており、「たき火」は前年と比べ6件減少し、「こんろ」は1件増加、「電気機器」が変わらず、「放火の疑い」は2件減少しています。

その他、建物火災の出火原因では、「ストーブ」「電灯・電話等の配線」「配線器具」「火入れ」「放火」「その他」がそれぞれ2件、以下は「たばこ」「火遊び」他様々な原因がありました。

4 住宅用火災警報器

平成18年6月に新築住宅、平成21年6月から既存住宅にも住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、宗像地区での設置率は81.33%（令和6年5月現在）となっています。

平成23年から令和6年までの住宅用火災警報器の奏功事例は17件あり、一定の効果をあげており、設置から10年以上経過している場合は住宅用火災警報器の交換を推奨し、日常の点検のしかたについても広報を行っています。

災害時覚書締結状況

大規模災害発生時における燃料の優先供給に関する覚書

被締結者 4 者 6 給油所

災害時における消防用水の確保に関する覚書

被締結者 4 者 3 事業所

大規模災害時における支援協力に関する協定書

被締結者 2 者 2 事業所

火災の状況

火災

(過去2年間)

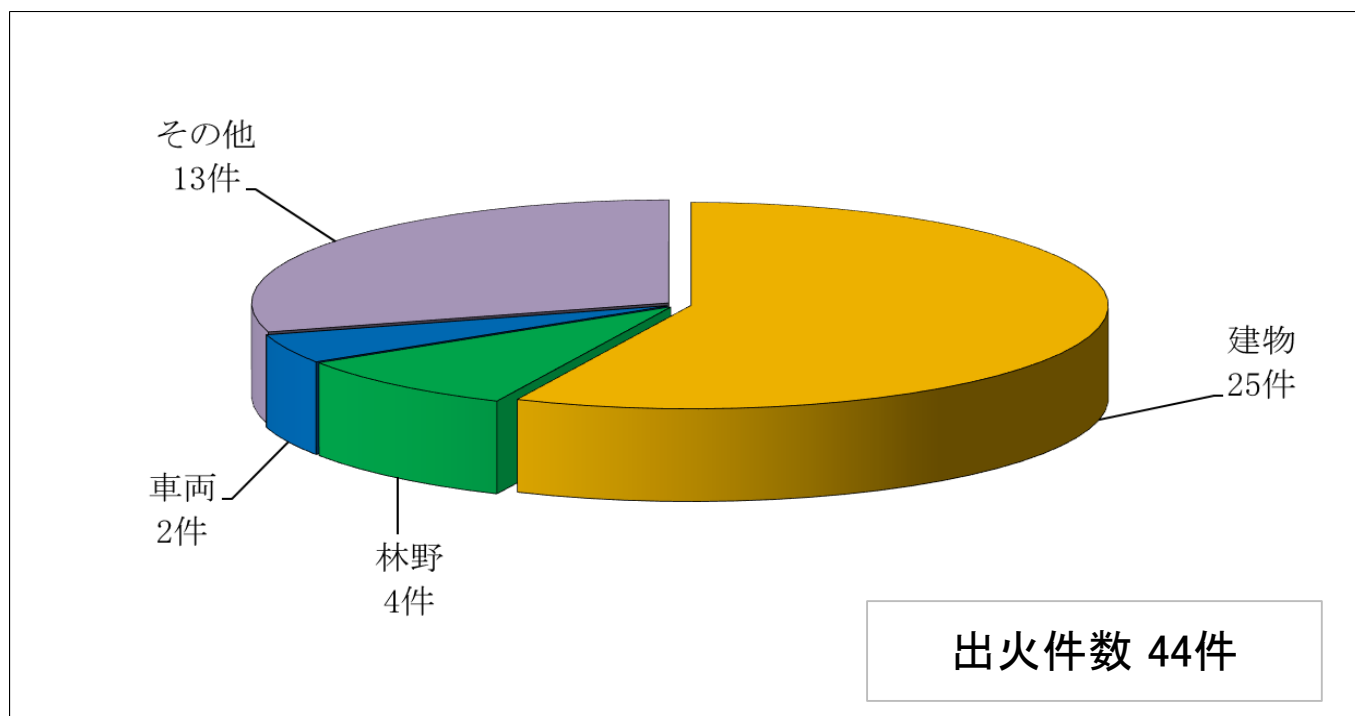
区 分		件	令和5年	令和4年	対前年比
出 火 件 数	件		44	60	△ 16
	建物火災	件	25	22	3
	林野火災	件	4	8	△ 4
	車両火災	件	2	5	△ 3
	船舶火災	件			
	航空機火災	件			
	その他の火災	件	13	25	△ 12
焼 損 棟 数	棟		33	40	△ 7
	全 焼	棟	6	12	△ 6
	半 焼	棟	2	1	1
	部 分 焼	棟	5	8	△ 3
	ぼ や	棟	20	19	1
焼損床面積（建物）		m ²	813	1,518	△ 705
焼損表面積（建物）		m ²	346	120	226
焼損面積（林野）		a	195	46	149
死 者 数		人	2	1	1
負 傷 者 数		人	11	5	6
り 災 世 帯 数	世帯		23	28	△ 5
	全 損	世帯	5	6	△ 1
	半 損	世帯	1		1
	小 損	世帯	17	22	△ 5
り 災 人 員 数		人	55	60	△ 5
損 害 額	千円		182,273	90,289	91,984
	建物損害	千円	52,662	63,795	△ 11,133
	林野損害	千円		5	△ 5
	車両損害	千円	7,235	438	6,797
	船舶損害	千円			
	航空機損害	千円			
	その他の損害	千円	122,376	26,051	96,325
全火災1件当り損害額		千円	4,143	1,505	2,638
建物火災 1件当り	損 害 額	千円	2,106	2,900	△ 794
	建物焼損面積	m ²	32.5	69.0	36.5
	焼損棟数	棟	1.3	1.8	△ 0.5
	り 災 世 帯	世帯	0.9	1.3	△ 0.4
	り 災 人 員	人	2.2	2.7	△ 0.5
出 火 率		件	2.65	3.62	△ 0.97
人 口		人	165,823	165,768	55

(注) 出火率は、人口1万人当りの出火件数(人口は令和5年12月31日現在の住民基本台帳による)

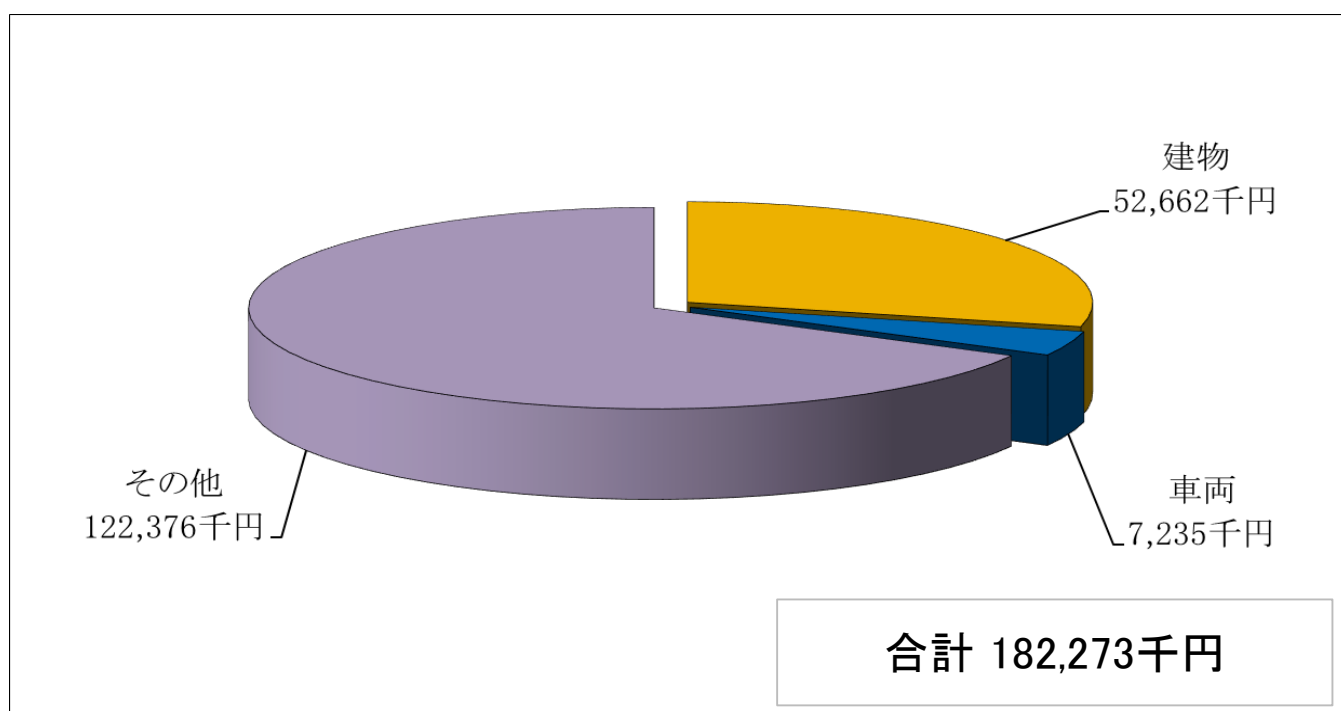
火災種別件数

火災

(令和5年中)



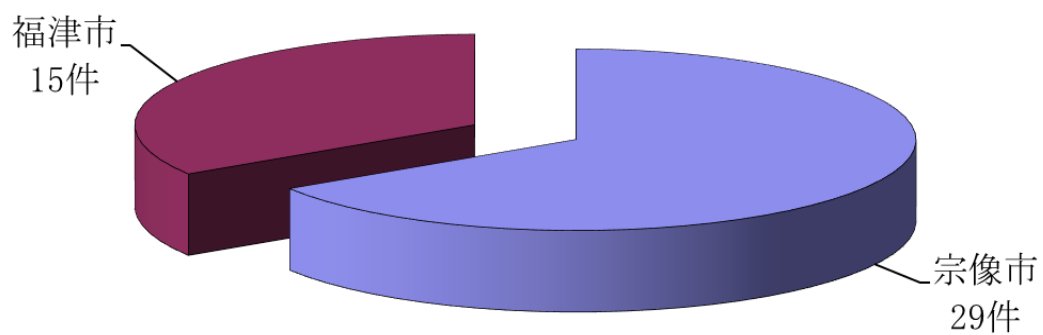
火災種別損害額



市別出火件数

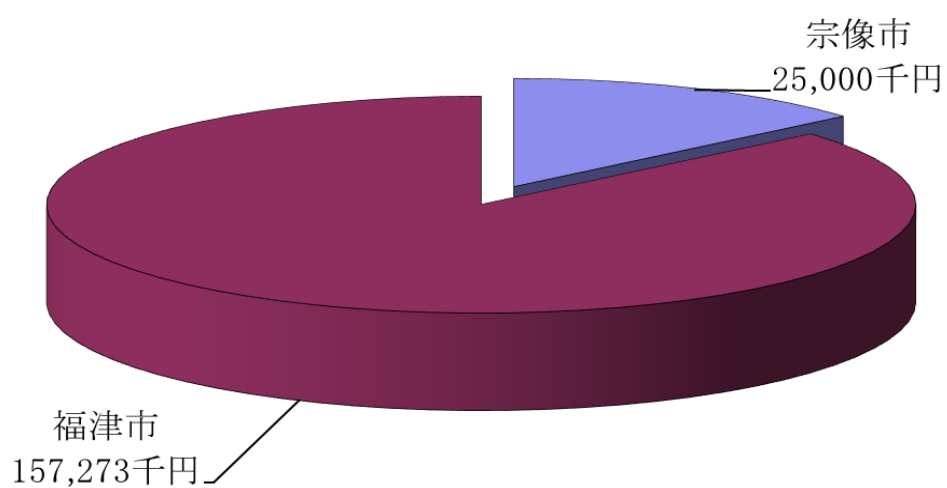
火災

(令和5年中)



出火件数 44件

市別損害額



合計 182,273千円

宗像市内の火災状況

火災

(令和5年中)

区分		月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	件		2	3	5			1	3	1	2	2	5	5	29
	建物火災	件	1	1	4			1	2	1	1		4	2	17
	林野火災	件		1	1									1	3
	車両火災	件										1		1	2
	船舶火災	件													
	航空機火災	件													
	その他の火災	件	1	1					1		1	1	1	1	7
焼損棟数	棟		1	1	4			1	2	1	2		4	6	22
	全焼	棟									2			2	4
	半焼	棟		1											1
	部分焼	棟			2				1					1	4
	ぼや	棟	1		2			1	1	1			4	3	13
焼損床面積(建物)	m ²			75	59				3		96			344	577
焼損表面積(建物)	m ²				33					1			1		35
焼損面積(林野)	a			2	140									50	192
死者数	人													2	2
	建物火災	人												2	2
	建物火災以外	人													
負傷者数	人													6	6
	建物火災	人												6	6
	建物火災以外	人													
損害額	千円		1	1,159	6,665				18	2	3,934		199	13,022	25,000
	建物火災	千円	1	925	6,665				18	2	3,919		199	12,828	24,557
	林野火災	千円													
	車両火災	千円									15			180	195
	船舶火災	千円													
	航空機火災	千円													
	その他の火災	千円		234										14	248
り災世帯数	世帯		1		5				1		1		4	6	18
	全損	世帯			1						1			2	4
	半損	世帯													
	小損	世帯	1		4				1				4	4	14
り災人員	人		4		11				7		1		11	11	45

福津市内の火災状況

火災

(令和5年中)

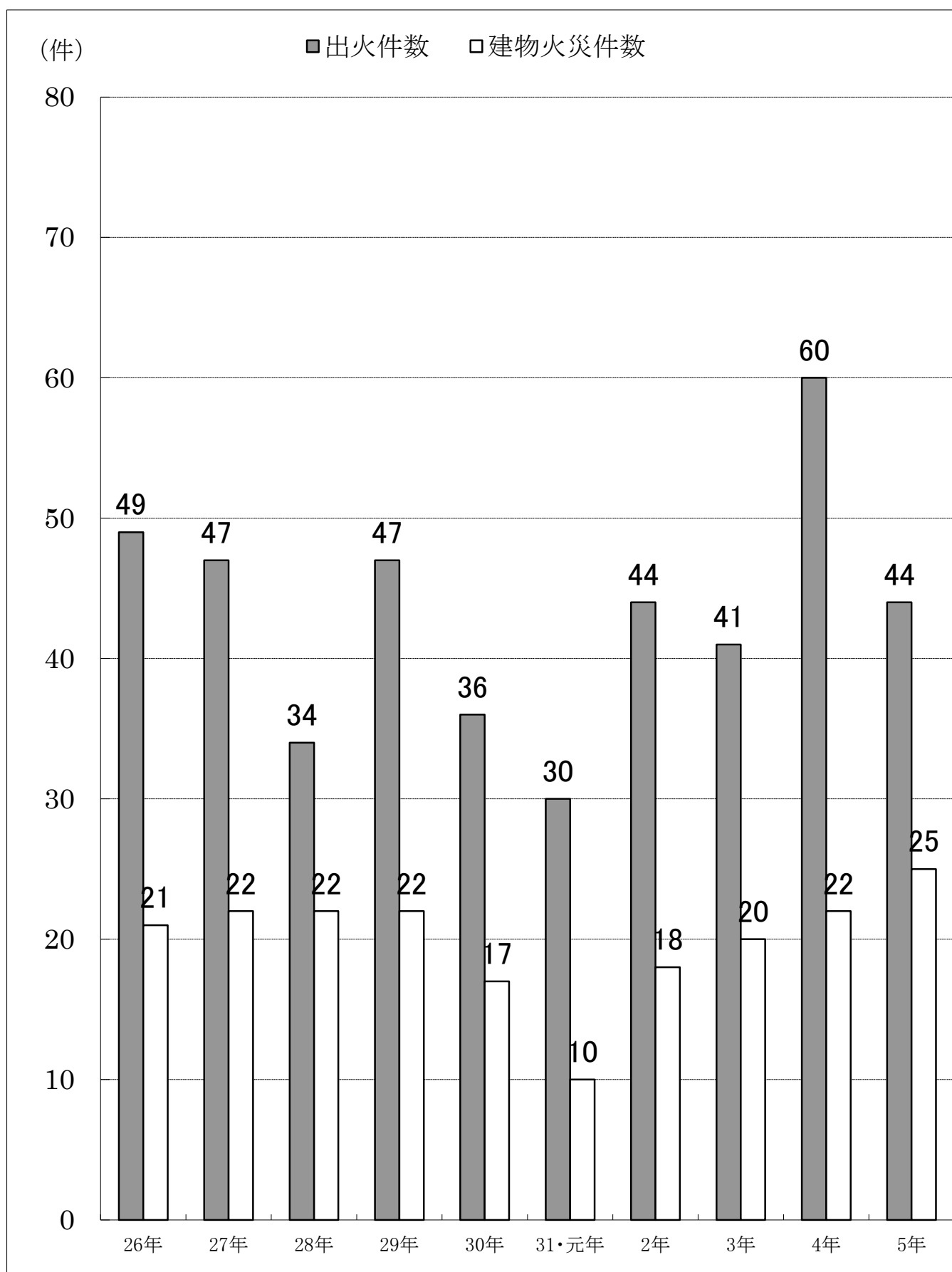
月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	件			2	2	2			2	2	1	3	1	15
建物火災	件					2			1	2		2	1	8
林野火災	件				1									1
車両火災	件													
船舶火災	件													
航空機火災	件													
その他の火災	件			2	1				1		1	1		6
焼損棟数	棟					2			1	2	1	4	1	11
全焼	棟											2		2
半焼	棟									1				1
部分焼	棟										1			1
ぼや	棟					2			1	1		2	1	7
焼損床面積(建物)	m ²									126		110		236
焼損表面積(建物)	m ²					1					310			311
焼損面積(林野)	a				3									3
死者数	人													
建物火災	人													
建物火災以外	人													
負傷者数	人									4		1		5
建物火災	人									4				4
建物火災以外	人											1		1
損害額	千円					53			5	23,026	129,782	4,393	14	157,273
建物火災	千円					53			5	23,026	614	4,393	14	28,105
林野火災	千円													
車両火災	千円										7,040			7,040
船舶火災	千円													
航空機火災	千円													
その他の火災	千円										122,128			122,128
り災世帯数	世帯					1				2		2		5
全損	世帯											1		1
半損	世帯									1				1
小損	世帯					1				1		1		3
り災人員	人					2				3		5		10

月別出火件数及び損害状況

火災

(令和5年中)

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	件	2	3	7	2	2	1	3	3	4	3	8	6	44
建物火災	件	1	1	4		2	1	2	2	3		6	3	25
林野火災	件		1	1	1								1	4
車両火災	件										1		1	2
船舶火災	件													
航空機火災	件													
その他の火災	件	1	1	2	1			1	1	1	2	2	1	13
焼損棟数	棟	1	1	4		2	1	2	2	4	1	8	7	33
全焼	棟									2		2	2	6
半焼	棟		1							1				2
部分焼	棟			2				1			1		1	5
ぼや	棟	1		2		2	1	1	2	1		6	4	20
焼損床面積(建物)	m ²		75	59				3		222		110	344	813
焼損表面積(建物)	m ²			33		1			1		310	1		346
焼損面積(林野)	a		2	140	3								50	195
死者数	人												2	2
建物火災	人												2	2
建物火災以外	人													
負傷者数	人									4		1	6	11
建物火災	人									4			6	10
建物火災以外	人											1		1
損害額	千円	1	1,159	6,665		53		18	7	26,960	129,782	4,592	13,036	182,273
建物火災	千円	1	925	6,665		53		18	7	26,945	614	4,592	12,842	52,662
林野火災	千円													
車両火災	千円									15	7,040		180	7,235
船舶火災	千円													
航空機火災	千円													
その他の火災	千円		234								122,128		14	122,376
り災世帯数	世帯	1		5		1		1		3		6	6	23
全損	世帯			1						1		1	2	5
半損	世帯									1				1
小損	世帯	1		4		1		1		1		5	4	17
り災人員	人	4		11		2		7		4		16	11	55



原因別出火件数

火災

(令和5年中)

原因別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
たばこ					1								1
こんろ			1			1			1			1	4
かまど													
風呂かまど													
炉													
焼却炉													
ストーブ											1	1	2
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道													
排気管													
電気機器	1							1			1		3
電気装置													
電灯・電話等の配線									1		1		2
内燃機関													
配線器具		1									1		2
火遊び							1						1
マッチ・ライター													
たき火		1	2	2			1	1		1	1	2	11
溶接機・切断機													
灯火			1										1
衝突の火花												1	1
取灰								1					1
火入れ	1						1						2
放火			1								1		2
放火の疑い			1		1				1				3
不明・調査中			1						1	2	1	1	6
その他		1									1		2
合計	2	3	7	2	2	1	3	3	4	3	8	6	44

過去10年間の主な出火原因の推移（※不明・調査中を除く）

出 火 原 因	1 位	たき火 13件	その他 12件	たばこ 5件	たき火 12件	たき火 その他	たき火 9件	たき火 13件	たき火 8件	たき火 17件	たき火 11件
	2 位	その他 7件	こんろ 5件	電灯・電話等 の配線 4件	その他 5件	7件	たばこ 4件	その他 6件	たばこ 7件	たばこ 7件	こんろ 4件
	3 位	こんろ 火入れ 放火の疑い 3件	たき火 4件	たき火 放火の疑い その他 3件	電気機器 電灯・電話 等の配線 3件	電気機器 5件	放火の疑い その他 不明・調査中 3件	たばこ 電灯・電話 等の配線 配線器具 4件	電灯・電話等の 配線 配線器具 浴断機・切断機 2件	その他 放火の疑い 5件	電気機器 放火の疑い 3件
出 火 件 数		49件	47件	34件	47件	36件	30件	44件	41件	60件	44件
統 計 年		26年	27年	28年	29年	30年	31・元年	2年	3年	4年	5年

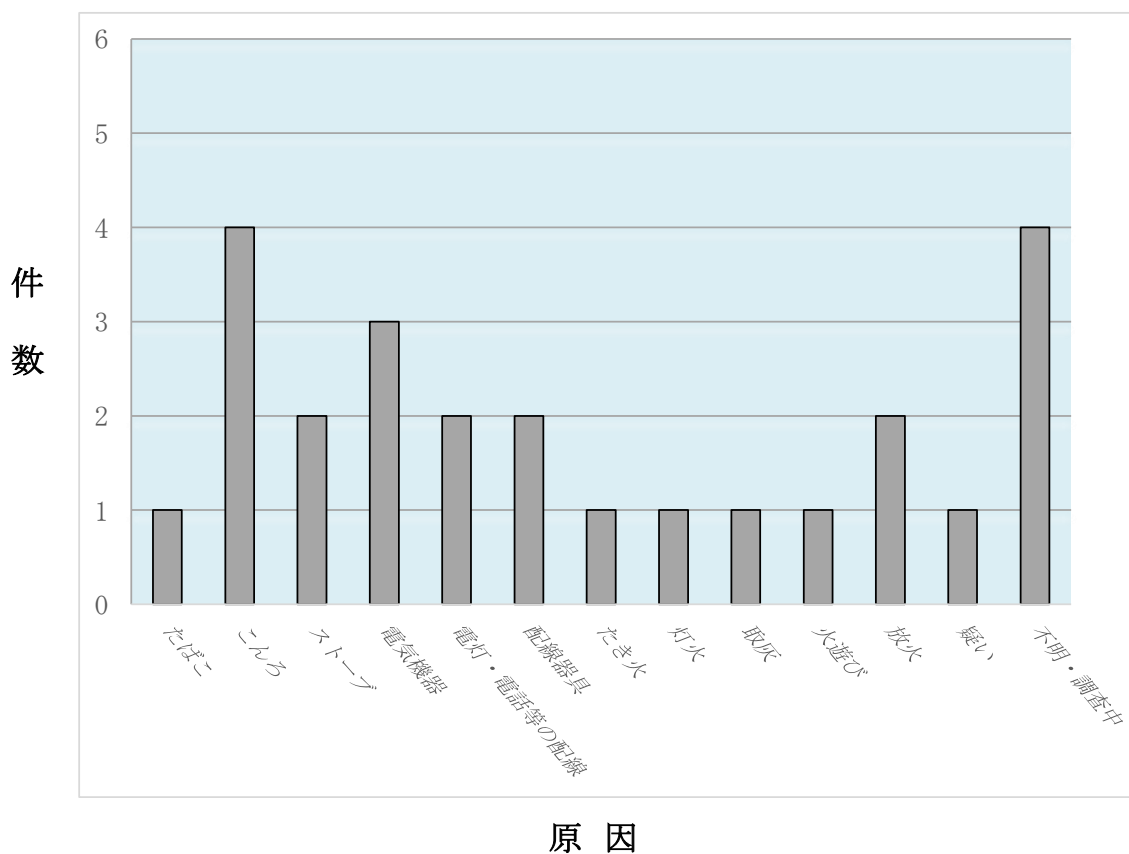
建物用途別出火件数

(令和5年中)

用途別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
住 宅	1		1		1		1		3		4	1	12
共 同 住 宅			2		1			1			1		5
寄 宿 舎													
事 務 所													
店 舗						1		1					2
工 場													
作 業 場													
倉 庫		1						1					2
納 屋													
物 置													
置 場													
車 庫			1										1
養 畜 舎													
そ の 他											1	2	3
計	1	1	4		2	1	2	2	3		6	3	25

建物火災の出火原因

(令和5年中)



原因

覚知別出火件数

(令和5年中)

月別 覚知別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災報知専用電話 (NTT以外の固定電話)													
火災報知専用電話 (NTT加入の固定電話)		1				1			1	1	1	1	6
火災報知専用電話 (携帯電話)	2	1	3	2	2		2	2	2	2	4	5	27
加入電話 (固定電話)			1				1						2
加入電話 (携帯電話)													
警察電話													
駆け付け通報													
事後聞知		1	3					1	1		3		9
その他													
合 計	2	3	7	2	2	1	3	3	4	3	8	6	44

曜日別火災概況

(令和5年中)

内訳 曜日別	出火件数(件)							死傷者(人)		焼 損 面 積			損害額 (千円)
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	負傷者	建 物 (㎡)	表面積 (㎡)	林 野 (a)	
日 曜 日	6	3	1				2		11	231	1	3	30,710
月 曜 日	4	3	1							174		2	4,860
火 曜 日	8	5		1			2	2		349			9,217
水 曜 日	10	6	1	1			2				311	140	130,560
木 曜 日	5	4					1			59	34		6,621
金 曜 日	4	1	1				2					50	5
土 曜 日	7	3					4						300
不 明													
合 計	44	25	4	2			13	2	11	813	346	195	182,273

時間別出火概況

火災

(令和5年中)

区分 時間別	出 火 件 数 (件)							死傷者(人)		焼 損 面 積			損害額(千円)
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	負傷者	建物(㎡)	表面積(㎡)	林野(a)	
0～1													
1～2	4	4							6	215			11,694
2～3													
3～4													
4～5													
5～6													
6～7	1	1						2		239			5,202
7～8													
8～9	1	1											
9～10	3	2		1						57	34		6,668
10～11	2	2											8
11～12	5	1	1	1			2		1			3	42
12～13	4		2				2					142	
13～14	2	1					1						5
14～15	5	2					3				1		252
15～16	1		1									50	
16～17	4	2					2			3	310		129,800
17～18	1	1								2			131
18～19	1						1						
19～20	3	1					2		4	126			23,026
20～21	1	1											18
21～22	1	1											385
22～23	3	3								96			3,984
23～24													
不明	2	2								75	1		1,058
合計	44	25	4	2			13	2	11	813	346	195	182,273

気象別出火件数

(令和5年中)

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
天候	晴	2	3	4	2			3	2	2	3	5	5	31
	曇			2		2			1	2		3	1	11
	雨			1			1							2
	雪													
	不明													
	計	2	3	7	2	2	1	3	3	4	3	8	6	44
風向	無風状態													
	北				1	1						1		3
	北北東							1					1	2
	北東		1		1			1						3
	東北東		2	1					1			1	1	6
	東													
	東南東						1							1
	南東			1										1
	南南東			1										1
	南			1						1			1	3
	南南西									2			1	3
	南西										1	1		2
	西南西											1	1	2
	西			2		1						2	1	6
	西北西	1								1	1			3
	北西			1				1			1	1		4
	北北西	1							2			1		4
	不明													
	計	2	3	7	2	2	1	3	3	4	3	8	6	44
風速 (m / S)	1未満	1	1									2	1	5
	1～2	1		3		1				2	1	3	1	12
	2～3			3		1	1		1		1	1		8
	3～4		2	1				1		1		1	3	9
	4～5				1			1						2
	5～6							1	2	1		1	1	6
	6～7													
	7～8				1									1
	8以上										1			1
	不明													
	計	2	3	7	2	2	1	3	3	4	3	8	6	44
湿度 (%)	40未満			2	1							1	2	6
	40～50	1		1	1						1	1		5
	50～60		2	1		1		2		1	1	2	2	12
	60～70		1			1		1	1					4
	70～80								2	1		1	2	6
	80～90	1								1	1	3		6
	90～100			3			1			1				5
	不明													
	計	2	3	7	2	2	1	3	3	4	3	8	6	44

月別・市別出動車両・出動人員

(令和5年中)

分類 月別 市別	出火 件数	出動 件数	事後 調査 件数	出動車両（台）			出動人員（人）		
				計	消防署	消防団	計	消防署	消防団
1 月	2	2		17	12	5	70	33	37
2 月	3	2	1	20	14	6	98	40	58
3 月	7	4	3	42	27	15	195	83	112
4 月	2	2		27	14	13	124	40	84
5 月	2	2		9	8	1	57	53	4
6 月	1	1		12	8	4	57	23	34
7 月	3	3		15	10	5	54	25	29
8 月	3	2	1	21	14	7	83	40	43
9 月	4	3	1	46	21	25	201	62	139
10 月	3	3		44	22	22	289	72	217
11 月	8	5	3	84	32	52	376	87	289
12 月	6	6		62	47	15	351	151	200
合 計	44	35	9	399	229	170	1,955	709	1,246
宗 像 市	29	22	7	235	148	87	1,126	439	687
福 津 市	15	13	2	164	81	83	829	270	559

(注) 出動件数とは、出動指令により火災出動した件数で一連の火災調査も含む。

事後調査件数とは、事後通報により火災調査のみに出向した件数である。

令和5年中の救急概況

1 救急出動件数等の概況

令和5年中の救急自動車による救急出動件数及び救急搬送人員は、7,527件、6,362人です。前年に比べると出動件数は19件減少し、搬送人員は92人増加しました。

救急自動車による出動件数は、一日平均20.6件で、約70分に1件の割合で救急出動し、市民の約26.0人（前年約26.4人）に1人が救急自動車により搬送されたこととなります。

ヘリコプター使用による搬送件数及び搬送人員は、7件、7人で、前年と比べると5件増加となっています。

また、覚知から現場到着までの所要時間の平均は9.0分（前年比較で0.5分短縮（30秒）前年全国平均10.3分）、医療機関収容までの所要時間の平均は34.6分（前年比較で2.1分短縮（2分6秒）前年全国平均47.2分）と短縮しました。

※覚知から現場到着、医療機関収容までの所要時間が短縮した要因については、新型コロナウイルス感染症対策（119番通報を受信した指令員の情報聴取、救急隊出動時の感染防止対策など）が緩和され、さらに、傷病者の受入医療機関が確保できない搬送困難事案が減少したためと推測されます。

2 救急搬送人員の詳細

令和5年中の救急搬送人員を傷病程度別割合で見ると「軽症」が38.2%、「中等症」が56.7%を占めています。事故種別構成比で最も大きかったのは、全体の66.9%を占める「急病」で、前年と比べ99人増加し、「一般負傷」は38人増加しています。

年齢区分別割合で見ると「高齢者（65歳以上）」が、全搬送人員の65.4%を占め、「成人（18歳以上65歳未満）」の24.7%を大きく上回っています。

今後、高齢化の一層の進展による人口構成の変化が見込まれ、救急需要は高まる可能性があります。

3 応急救護体制について

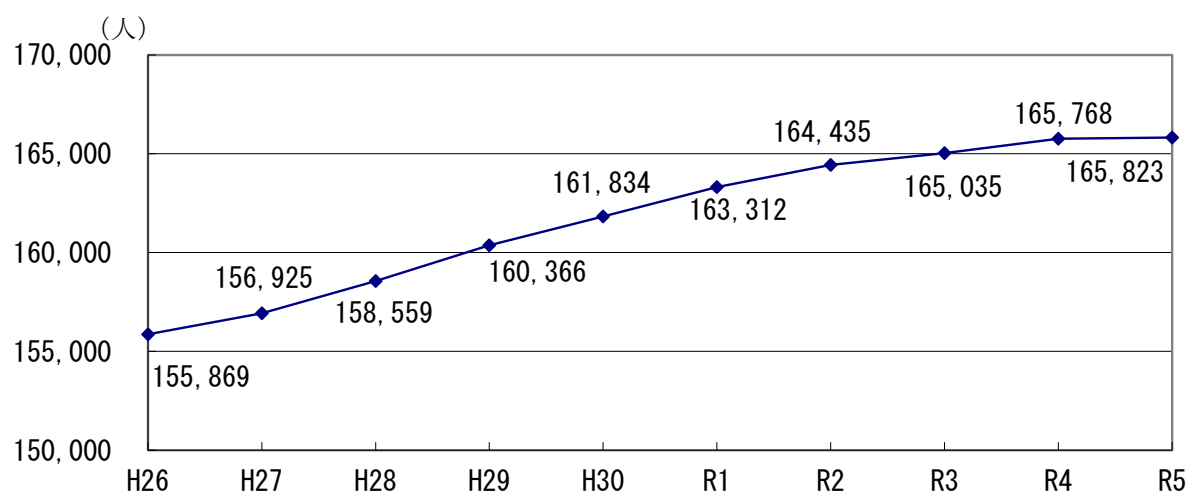
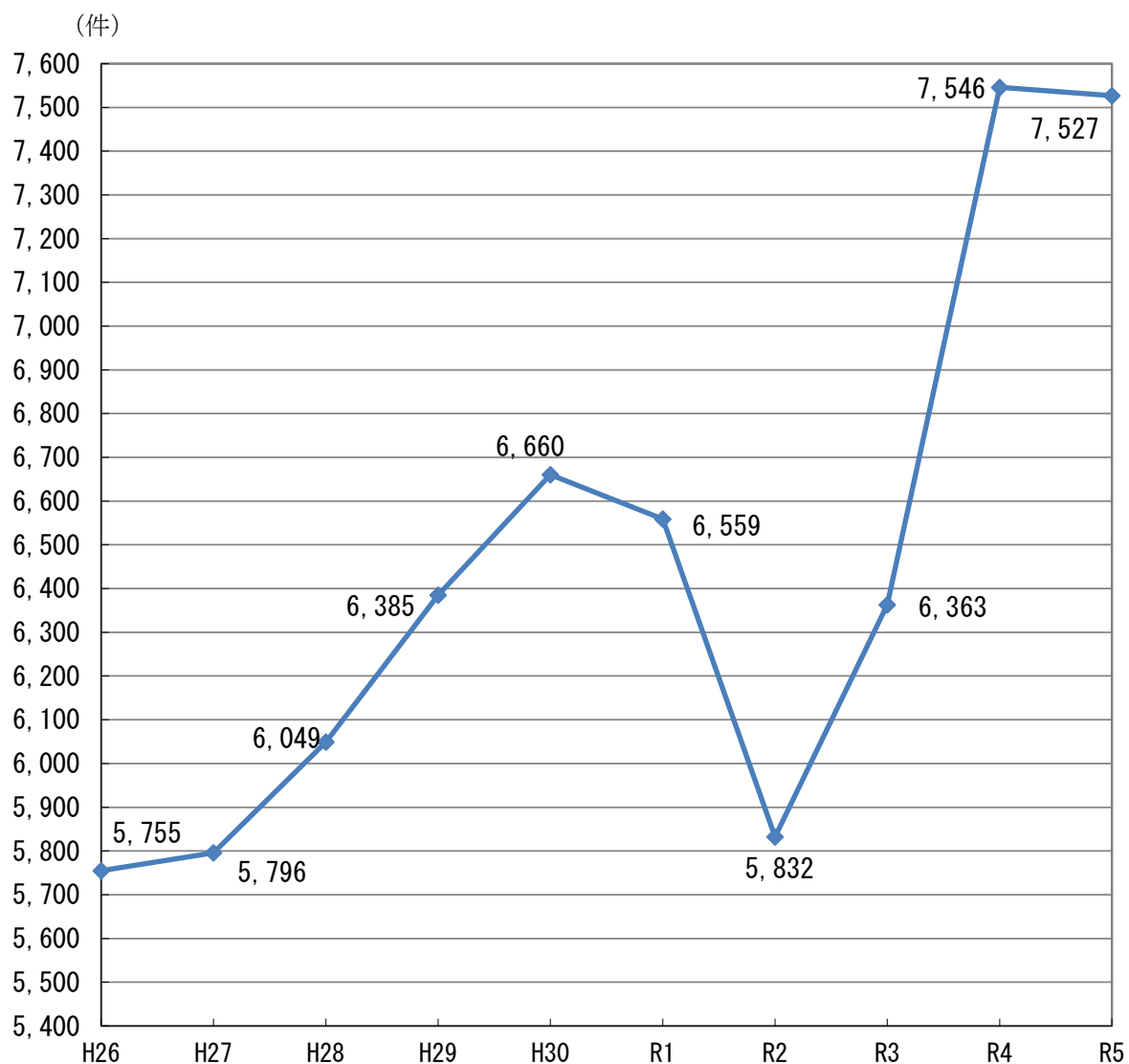
令和5年中の応急手当普及啓発活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、救命講習及び救急講習の開催が制限されましたが、前年の1,819人に対し、2,812人が受講しています。

市民が広くAEDを使用できる環境を目指し、平成29年度に開始した「むなかた・ふくつAEDステーション制度」は、241施設が登録しています。そのうち24時間営業のコンビニエンスストア51店舗に、消防本部がリースしているAEDを設置しています。

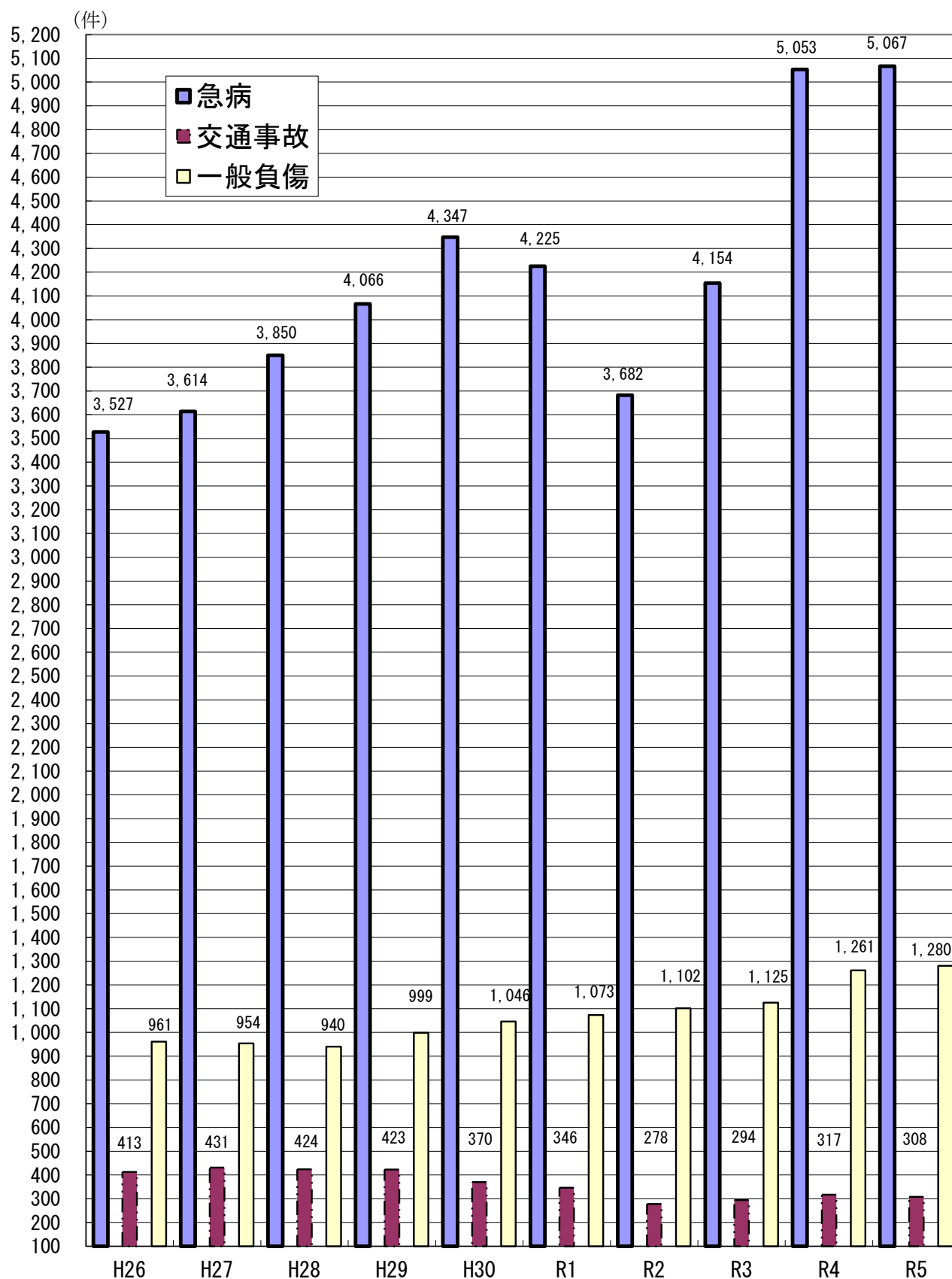
なお、コンビニエンスストアのAEDをすべてオートショックAEDに更新しています。

これにより、早く確実な電気ショックの実施、救助者の負担軽減などの効果が見込まれるため、住民に対して広報、指導を実施し、積極的な利用を促しています。

平成31年1月31日に宗像地区ファーストレスポnderを制度化、離島地域（大島地区、地島地区）の救命率向上のため、心肺蘇生等の応急手当を行うことができる宗像地区ファーストレスポnderとして33人が登録されています。今後更に養成を行い、離島地域の救命率及び社会復帰率向上に繋がります。



過去10年間の3大事故種別（急病・交通事故・一般負傷）の出動件数の推移



管内総括表

救急

(令和5年中)

月別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院	医師	資器材	その他		
出動件数	1	1			22	2	6	103	1	6	492	43			2	678	
	2	2			29	5	5	102	2	4	337	45			3	534	
	3	1			28	4	10	86		10	352	50			5	546	
	4	1			30	9	2	105		5	378	55			1	586	
	5	2		1	22	1	6	89	2	5	395	52			2	577	
	6	1			25	2	9	87	2	5	361	45				537	
	7	1			25	13	7	108	5	7	494	43			8	711	
	8	1		1	24	7	7	112	1	5	559	56			3	776	
	9	3			20	6	7	95	3	12	391	44			4	585	
	10	2			32	4	5	134	1	6	415	53			3	655	
	11	3			27	1		140	3	5	419	41			6	645	
	12	8			24	4	3	119		7	474	53			5	697	
	合計	26		2	308	58	67	1,280	20	77	5,067	580			42	7,527	
	前年	29		7	317	53	84	1,261	10	63	5,053	606			63	7,546	
搬送件数	1				14	2	6	79	1	3	367	42				514	164
	2				24	5	5	80	2	4	270	45				435	99
	3				18	4	9	76		4	295	50				456	90
	4				21	9	2	89		3	336	55				515	71
	5			1	17		6	77	2	3	328	52				486	91
	6				20	2	7	73	2	2	309	45				460	77
	7				21	11	6	97	4	4	412	43				598	113
	8				22	7	7	90		3	472	54				655	121
	9	1			19	4	6	81	3	6	323	44				487	98
	10				26	4	5	111	1	4	364	53				568	87
	11				20	1		124	2	3	354	41			1	546	99
	12	3			21	4	3	104		4	423	52				614	83
	合計	4		1	243	53	62	1,081	17	43	4,253	576			1	6,334	1,193
	前年	6		4	261	47	75	1,042	7	38	4,150	599			1	6,230	1,316
搬送人員	1				14	2	7	79	1	3	367	42				515	
	2				24	5	5	81	2	4	270	45				436	
	3				21	4	9	76		4	295	50				459	
	4				23	9	2	89		3	336	55				517	
	5			1	18		6	77	2	3	328	52				487	
	6				20	2	7	73	2	2	309	45				460	
	7				22	11	6	97	5	4	413	43				601	
	8				22	7	7	90		3	472	54				655	
	9	3			21	4	6	81	3	6	323	45				492	
	10				26	4	5	111	1	4	364	53				568	
	11				23	1		125	2	3	354	43				551	
	12	6			24	4	3	104		4	424	52				621	
	合計	9		1	258	53	63	1,083	18	43	4,255	579				6,362	
	前年	7		5	289	47	75	1,045	8	38	4,156	599			1	6,270	

市別総括表

救急

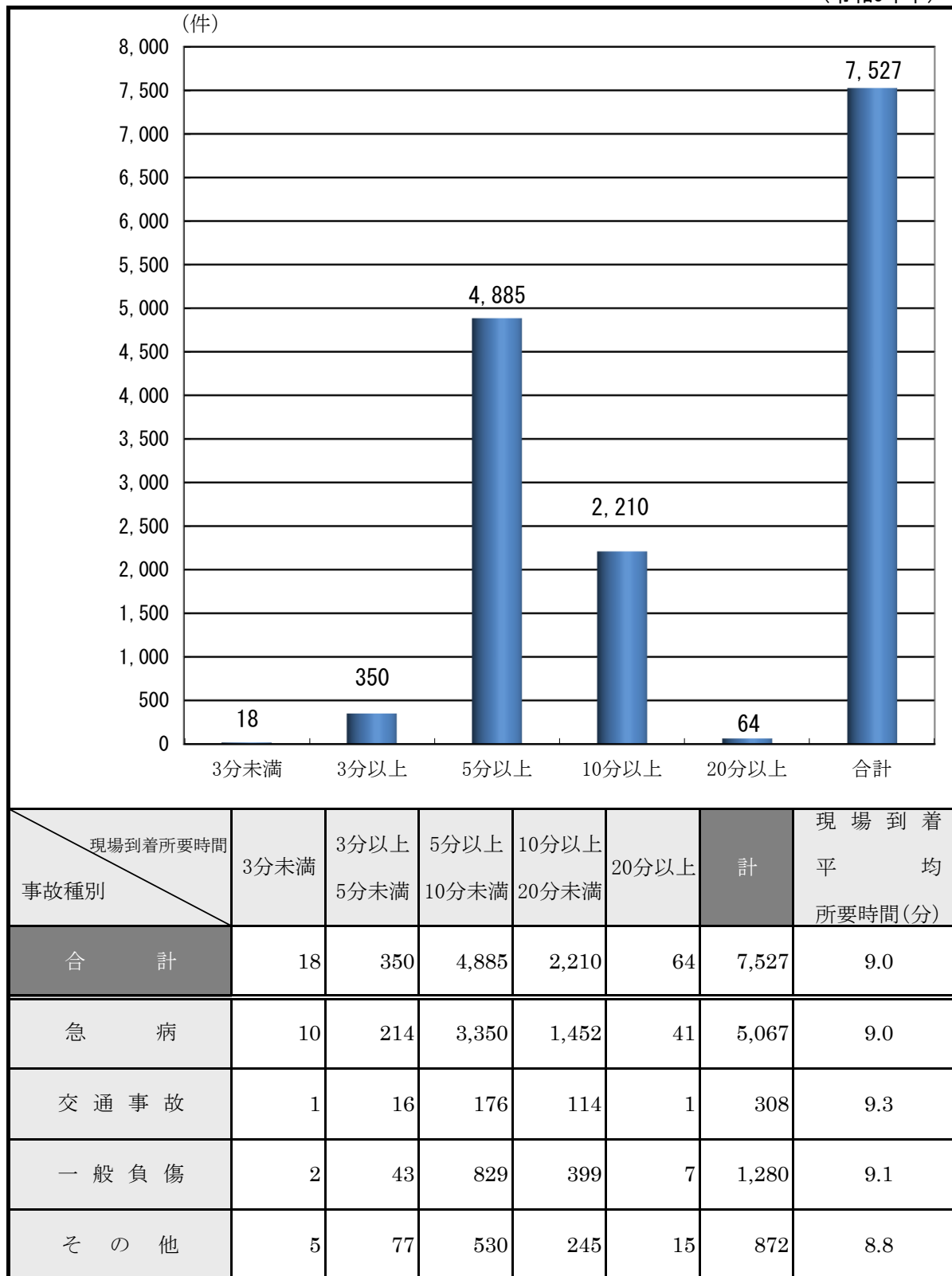
(令和5年中)

事故種別 市別		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他				計	不 搬 送
												転 院	医 師	資 器 材	そ の 他		
出 動 件 数	宗像市	17			186	40	58	769	14	38	3,043	404			27	4,596	
	福津市	9		2	122	17	9	511	6	39	2,019	175			15	2,924	
	管外					1					5	1				7	
	合計	26		2	308	58	67	1,280	20	77	5,067	580			42	7,527	
搬 送 件 数	宗像市	3			149	38	55	677	12	20	2,700	401				4,055	541
	福津市	1		1	94	14	7	404	5	23	1,550	174			1	2,274	650
	管外					1					3	1				5	2
	合計	4		1	243	53	62	1,081	17	43	4,253	576			1	6,334	1,193
搬 送 人 員	宗像市	6			159	38	56	678	13	20	2,701	401				4,072	
	福津市	3		1	99	14	7	405	5	23	1,551	175			2	2,285	
	管外					1					3	1				5	
	合計	9		1	258	53	63	1,083	18	43	4,255	577			2	6,362	

救急自動車による現場到着所要時間別出動件数の状況

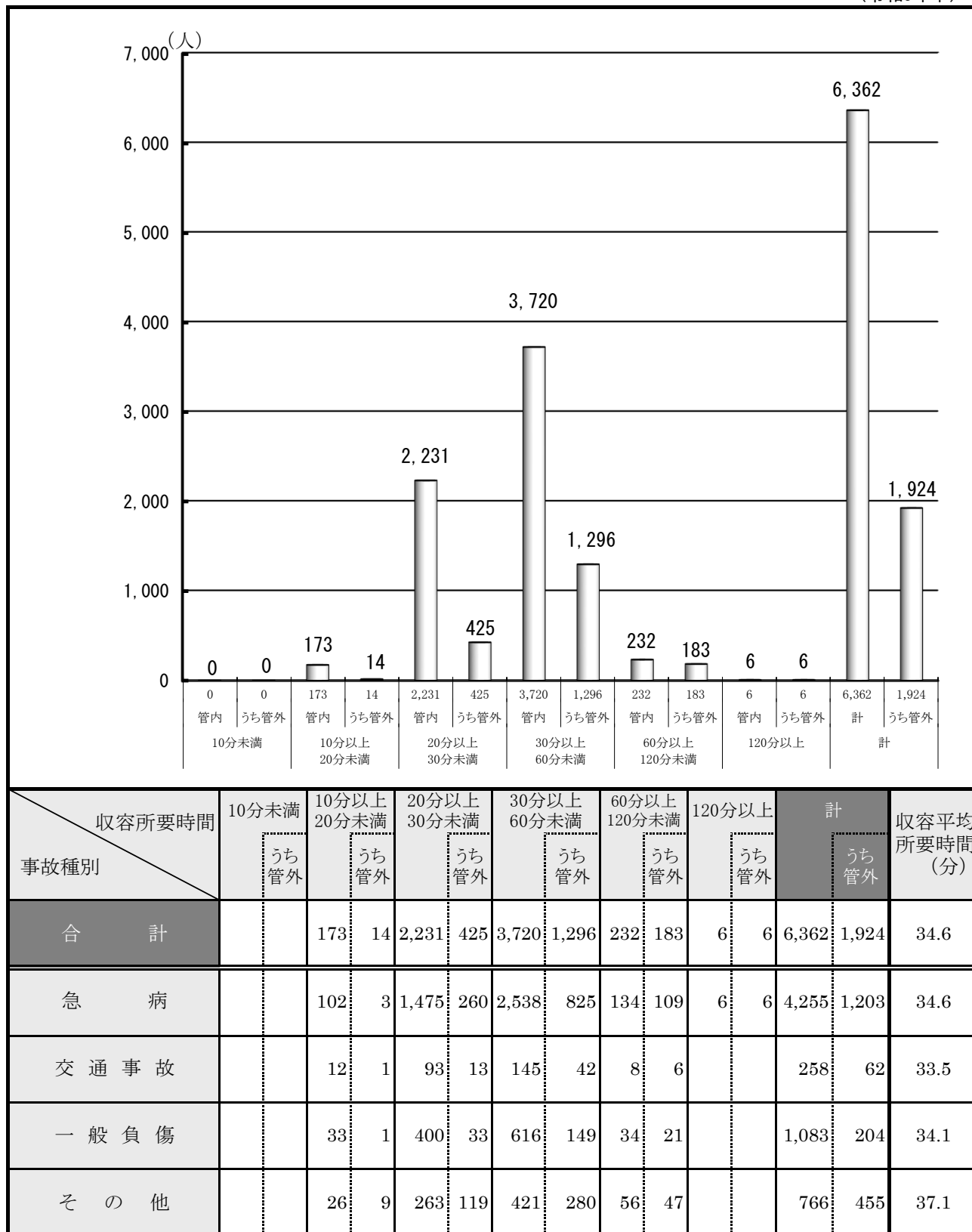
救急

(令和5年中)



(注) 1 現場到着所要時間とは、覚知から現場到着までに要した時間をいう。
2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

(令和5年中)



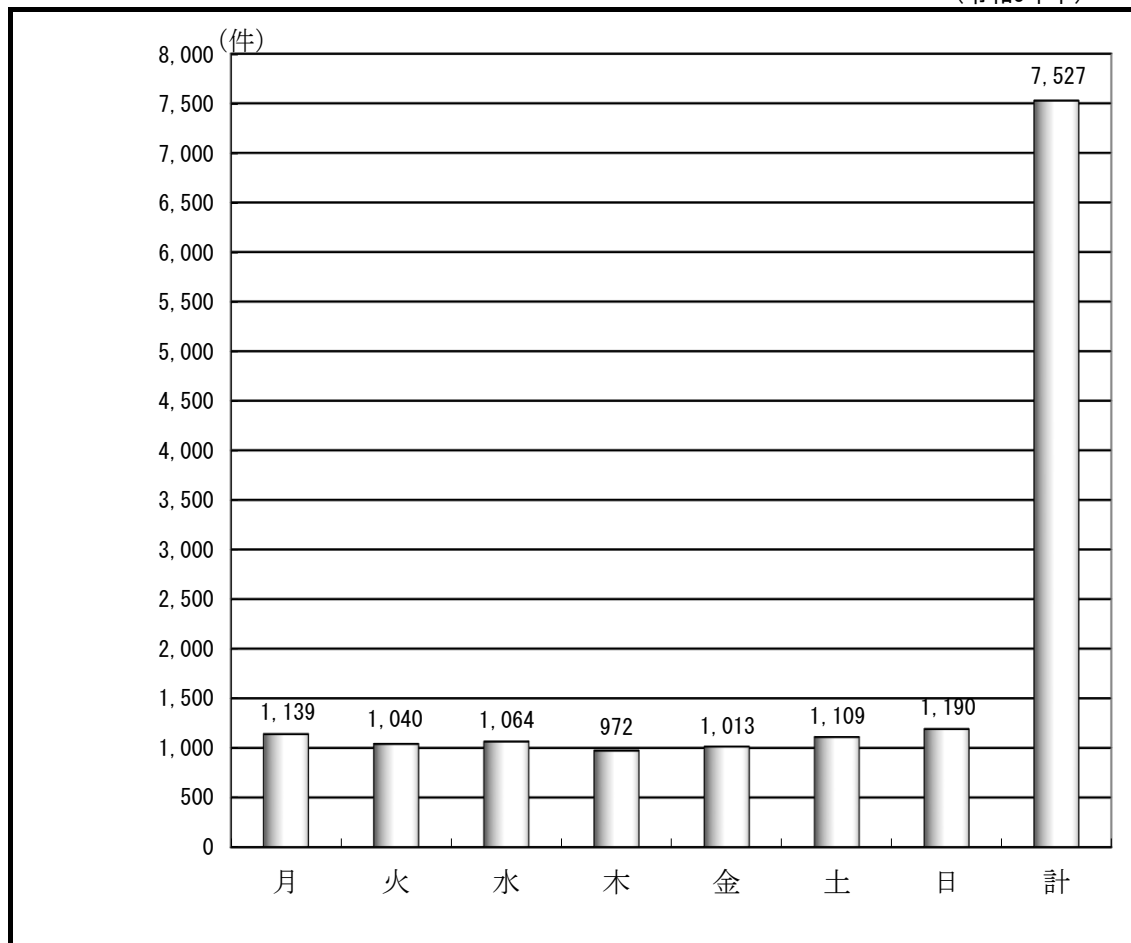
(注) 1 収容所要時間とは、覚知から傷病者を医療機関等に収容するまでに要した時間をいう。

2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

曜日別出動件数

救急

(令和5年中)

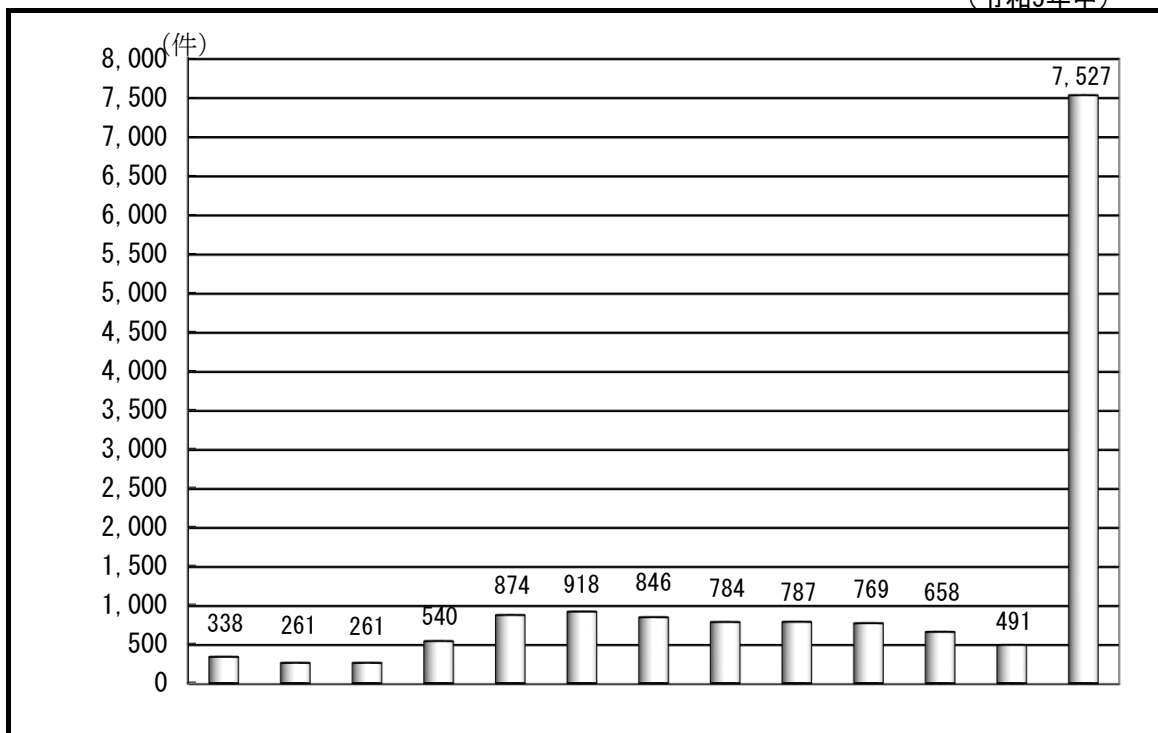


曜日 事故種別	月	火	水	木	金	土	日	計
合 計	1,139	1,040	1,064	972	1,013	1,109	1,190	7,527
火 災	1	6	3	2	3	2	9	26
自 然 災 害								
水 難	1			1				2
交 通 事 故	38	45	40	44	40	50	51	308
労 働 災 害	12	9	7	5	6	15	4	58
運 動 競 技	6	5	8	3	5	19	21	67
一 般 負 傷	177	161	171	149	172	232	218	1,280
加 害	1	3	4	1	4	3	4	20
自 損 行 為	13	12	10	13	9	8	12	77
急 病	780	683	732	664	682	704	822	5,067
そ の 他	110	116	89	90	92	76	49	622
前 年	1,116	1,071	1,038	1,019	1,052	1,136	1,114	7,546

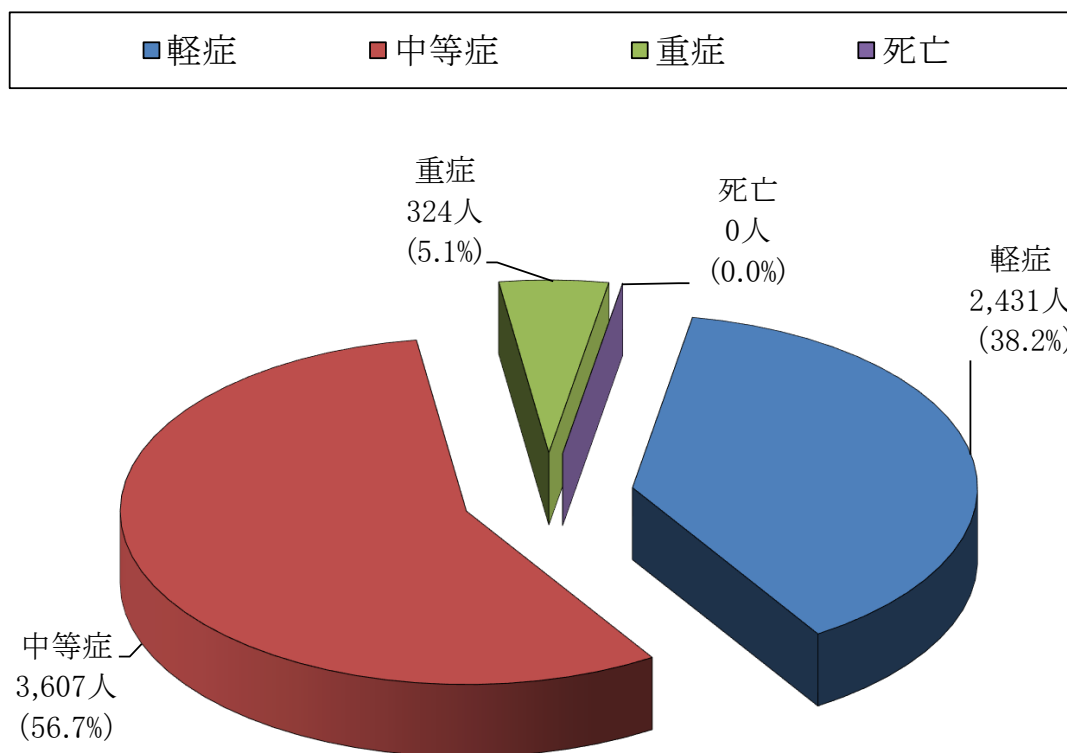
時間別出動件数

救急

(令和5年中)



時間別 事故種別		0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	計
		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	
合 計		338	261	261	540	874	918	846	784	787	769	658	491	7,527
火 災		4	2		4	2	3	2	2	1	3		3	26
自 然 災 害														
水 難						1			1					2
交 通 事 故		6	4	9	27	46	37	37	52	40	31	11	8	308
労 働 災 害			1	2	1	8	12	10	12	5	3	4		58
運 動 競 技					1	3	17	15	15	9	6	1		67
一 般 負 傷		40	35	37	99	152	164	153	147	134	134	104	81	1,280
加 害			3				2	1	1	4	3	2	4	20
自 損 行 為		8	8	4	4	7	5	5	10	8	11	5	2	77
急 病		263	188	201	397	602	559	522	456	499	531	494	355	5,067
そ の 他	転 院	17	13	7	5	45	116	98	84	84	44	31	36	580
	医 師													
	資 器 材													
	そ の 他		7	1	2	8	3	3	4	3	3	6	2	42
前 年		339	255	304	511	851	926	833	822	847	767	609	482	7,546



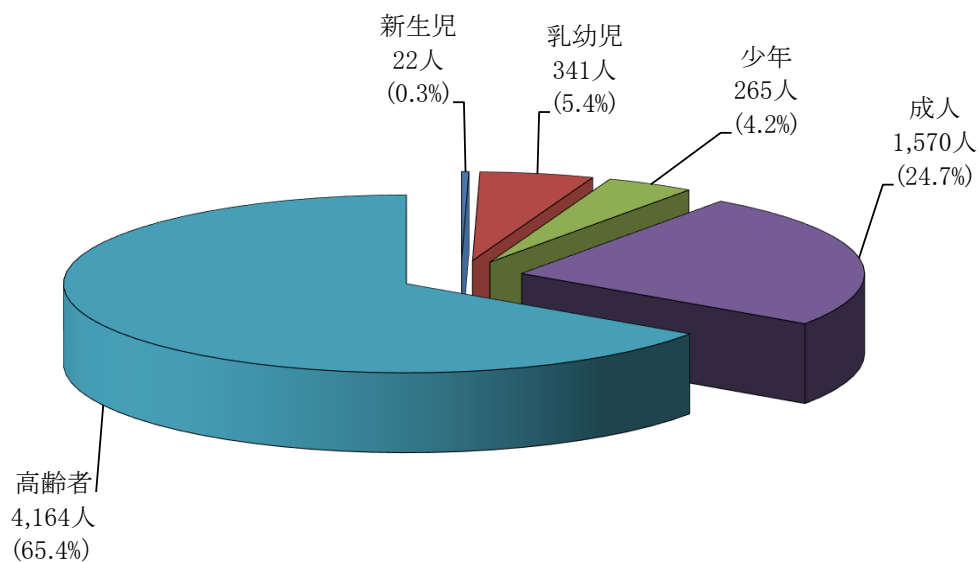
事故種別 程度別	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	計
合 計	9		1	258	53	63	1,083	18	43	4,255	579	6,362
軽 症	7			152	27	42	547	13	14	1,579	50	2,431
中 等 症	2			96	24	21	511	4	22	2,461	466	3,607
重 症			1	10	2		25	1	7	215	63	324
死 亡												

年齢別搬送人員

救急

(令和5年中)

■ 新生児 ■ 乳幼児 ■ 少年 ■ 成人 ■ 高齢者



年 齢 \ 事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児 (生後28日未満)										1	21	22
乳幼児 (生後28日以上7歳未満)				9			44			253	35	341
少年 (7歳以上18歳未満)	3			26		48	26	2	2	143	15	265
成人 (18歳以上65歳未満)	6			134	38	13	138	9	33	1,043	156	1,570
高齢者 (65歳以上)			1	89	15	2	875	7	8	2,815	352	4,164
合 計	9		1	258	53	63	1,083	18	43	4,255	579	6,362

救急隊員が行った応急処置等の状況

救急

(令和5年中)

処置項目	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
	処置対象人員	4,255	258	1,083	766	6,362
止血	血	11	6	49	10	76
固定	定	61	94	182	42	379
人工呼吸	吸	27		3	6	36
酸素吸入	入	931	15	81	250	1,277
保温	温	955	42	211	193	1,401
被覆	覆	11	46	176	27	260
心肺蘇生	生	104	4	16	9	133
うち自動式心マッサージ器使用		60	3	11	6	80
在宅療法	法	22		3	1	26
ショックパンプ						
血圧測定	定	4,001	247	1,026	707	5,981
心音・呼吸音聴取	取	4,142	248	1,022	695	6,107
血中酸素飽和度測定	定	4,157	254	1,065	755	6,231
心電図測定	定	4,038	217	965	663	5,883
気道確保	保	159	4	24	16	203
うち経鼻エアウェイを使用時の気道確保					1	1
うち喉頭鏡・鉗子等による異物除去		3	1	10	1	15
うちラリングアルマスク等を使用時の気道確保		63	2	7	2	74
うち気管挿管を使用時の気道確保				3		3
除細動	動	15		1	1	17
静脈路確保	保	74	3	12	4	93
薬剤投与	与	40	1	4	1	46
その他	他	4,084	249	1,032	726	6,091

(注) 1 1名に付き複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象人員と事故種別ごとの処置項目の計の数とは一致しない。

2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

急病にかかる疾病分類別搬送人員

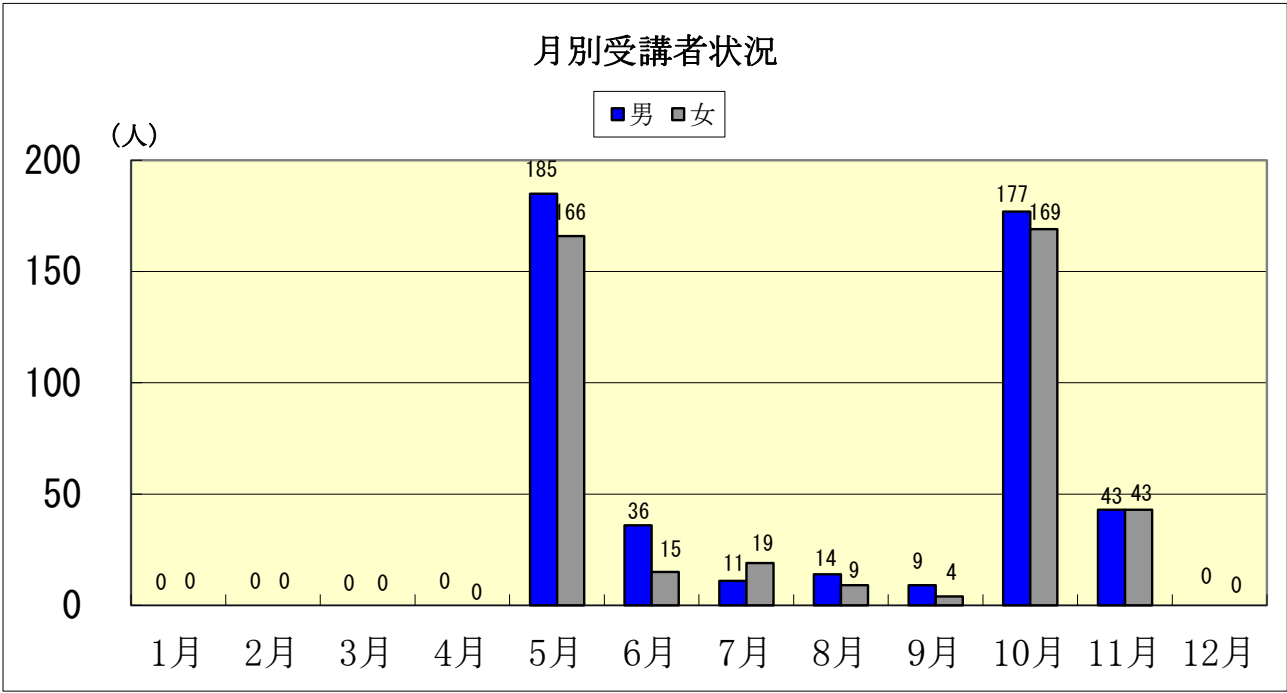
救急

(令和5年中)

疾病分類 年齢区分		脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	計
新生児	死 亡											
	重 症											
	中等症									1		1
	軽 症											
	小 計									1		1
乳幼児	死 亡											
	重 症						1			5	1	7
	中等症			1	6		7			44	4	62
	軽 症			6	13					133	32	184
	小 計			7	19		8			182	37	253
少年	死 亡											
	重 症	1										1
	中等症			4	5		6	1		17	15	48
	軽 症		1	8	10		4			34	37	94
	小 計	1	1	12	15		10	1		51	52	143
成人	死 亡											
	重 症	9	5	1		2	1		2	13	3	36
	中等症	35	32	50	34	12	20	19	9	117	195	523
	軽 症	6	18	44	40	30	23	34	2	118	169	484
	小 計	50	55	95	74	44	44	53	13	248	367	1,043
高齢者	死 亡											
	重 症	21	36	2	12		2	1	3	84	10	171
	中等症	149	156	121	246	6	23	30	39	347	710	1,827
	軽 症	21	56	47	43	12	30	17	5	243	343	817
	小 計	191	248	170	301	18	55	48	47	674	1,063	2,815
計	死 亡											
	重 症	31	41	3	12	2	4	1	5	102	14	215
	中等症	184	188	176	291	18	56	50	48	526	924	2,461
	軽 症	27	75	105	106	42	57	51	7	528	581	1,579
合 計		242	304	284	409	62	117	102	60	1,156	1,519	4,255

(注) 年齢区分は新生児(生後28日未満)、乳幼児(生後28日以上7歳未満)、少年(7歳以上18歳未満)、成人(18歳以上65歳未満)、高齢者(65歳以上)を示す。

(令和5年中)



月 別	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ						上級救命講習						合計	
	受講者数						受講者数							
	男	再講習	女	再講習	合 (男・女)	計 (再講習)	男	再講習	女	再講習	合 (男・女)	計 (再講習)	普通・上級	再講習
1月														
2月														
3月														
4月														
5月	185	8	166		351	8							351	8
6月	36	21	15	1	51	22							51	22
7月	11	3	19	3	30	6							30	6
8月	14	5	9	1	23	6							23	6
9月	9		4	2	13	2							13	2
10月	177		169		346								346	
11月	43	3	43	11	86	14							86	14
12月														
小 計	475	40	425	18	900	58							900	58
合 計	900(58)						0						900(58)	
累 計	72,793(9,041)						2,715(229)						75,508(9,270)	

- ※ 令和5年中の救命講習 受講者総数
 900人
 うち普通救命講習 受講者数
 900人
 うち上級救命講習 受講者数
 0人
- ※ 令和5年12月31日現在の救命講習 受講者総数
 75,508人
 うち普通救命講習 受講者数
 72,793人
 うち上級救命講習 受講者数
 2,715人
- ※ 令和5年中の応急手当普及員講習 受講者数
 9人
- ※ 令和5年中の救急講習回数～63回 受講者数～1,979人

消防隊による救急活動状況

救急

消防隊による救急活動件数

(令和5年中)

事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
市別													
活動件数	宗像市			1	5	2		6			33	19	66
	福津市				1			2			1	1	5
	管外												
	合計			1	6	2		8			34	20	71

※「消防隊による救急活動」とは、救急隊が現場到着まで10分以上要する場合に消防隊が先行出動し、救急隊に引継ぐまで応急処置等を行うもの。

消防隊による救急支援活動件数

(令和5年中)

事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
市別													
活動件数	宗像市				21	2		22	11	20	219	3	298
	福津市			1	7			26	7	12	124	1	178
	管外												
	合計			1	28	2		48	18	32	343	4	476

※「消防隊による救急支援活動」とは、救急隊単隊では搬送困難な場合や救急活動に際し危険がある場合に救急隊と同時出動し、搬送支援または現場安全確保にあたるもの。

令和5年中の救助概況

令和5年中における救助活動の状況は、救助出動件数は87件（前年比1件増）、救助活動件数は55件（前年比1件増）、救助人員は59人（前年比12人増）であり、前年と比較して、救助出動件数、救助活動件数及び救助人員はいずれも増加している。（下表参照）

救助出動、救助活動件数及び救助人員の推移

区分 年	救助出動件数		救助活動件数		救助人員	
	件数 (件)	対前年増減率 (%)	件数 (件)	対前年増減率 (%)	人員 (人)	対前年増減率 (%)
平成31年・令和元年	79	31.6	51	45.7	47	20.5
令和2年	67	▲15.1	44	▲13.7	40	▲14.9
令和3年	59	▲11.9	26	▲40.9	29	▲27.5
令和4年	86	45.8	54	107.7	47	62.1
令和5年	87	1.1	55	1.9	59	25.5

救助出動件数87件を、事故種別ごとにみると最も多いのは、「建物等による事故」39件で、全体の44.8%を占めている。次に「交通事故」23件（26.4%）、「その他の事故」19件（21.8%）、「火災」3件（3.5%）、「ガス及び酸欠事故」2件（2.3%）、「水難事故」1件（1.2%）となっている。

救助活動件数55件を、事故種別ごとにみると最も多いのは、「建物等による事故」27件で、全体の49.1%を占めている。次に「その他の事故」12件（21.8%）、「交通事故」11件（20%）、「火災」3件（5.5%）、「ガス及び酸欠事故」2件（3.6%）となっている。

救助人員59人を、事故種別ごとにみると最も多いのは、「建物等による事故」27人で、全体の45.8%を占めている。次に「交通事故」12人（20.3%）、「その他の事故」11人（18.6%）、「火災」5人（8.5%）、「ガス及び酸欠事故」4人（6.8%）となっている。

※「その他の事故」とは、火災、交通事故、水難事故、風水害等自然災害、機械による事故、建物等による事故、ガス及び酸欠事故及び破裂事故以外の事故で消防機関による救助を必要としたものをいう。

救助

管内総括表

(令和5年中)

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風自然 水災害 等害	機械による 事故	建物等 による 事故	ガス酸 欠事 び故	破裂事故	その他 事故	合計	前年
出動件数 (件)	3	23	1			39	2		19	87	86
活動件数 (件)	3	11				27	2		12	55	54
救助人員 (人)	5	12				27	4		11	59	47
活動人員 (人)	57	133				160	39		72	461	412
活動車両台数(台)	14	47				52	14		22	149	133

主な救助活動

(令和5年中)

発生日	発生場所	事故種別	事故内容	出動状況		活動状況		救助人員
				人員	台数	人員	台数	
1月13日	宗像市	交通事故	JR赤間駅構内線路上において発生した列車事故で、列車の運転手が線路上に人影を発見し急制動をかけたが先頭車両に巻き込んだもの。 右大腿部が車輪とレールに挟まれた状態であったため、救助隊員2名で要救助者の体幹部を移動させたのち、列車を後退させ挟まれを解除し、バックボードを使用して救出した。	20	7	17	6	1
2月17日	宗像市	交通事故	2トントラックが20トントラックに追突し、2トントラックの運転手1名が車内で左下肢を挟まれているとの通報により出動したもの。 2トントラックの運転席側フロントピラーをカッターで切断。ラムシリンダーで拡張し挟まれを解除。用手にて救出した。	14	5	14	5	1
9月10日	福津市	火災	木造一部鉄骨造2階建て一般住宅の建物火災で、避難できず2階に取り残された要救助者3名を、先着した宗像消防署救急小隊と福津消防署救助警防小隊が、2階の窓に三連梯子を架梯し、介添えにて救出した。	27	9	6	2	3
11月5日	宗像市	ガス酸欠事故	公衆トイレ(バリアフリートイレ)に「硫化水素発生中」との張り紙があるとの通報により出動したもの。 トイレ周辺の検知活動を実施後、進入統制ラインを設定し、レベルB装備の救助隊員2名により公衆トイレのドアガラスを破壊、開錠し進入して要救助者を屋外に救出した。	19	7	19	7	1

市別救助出動件数

(令和5年中)

事故種別 市別		火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス欠及び 酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
出動件数	宗像市	2	15				22	1		13	53
	福津市	1	8	1			17	1		6	34
	管外										
	合計	3	23	1			39	2		19	87
事故種別 市別		火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス欠及び 酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
活動件数	宗像市	2	8				15	1		8	34
	福津市	1	3				12	1		4	21
	管外										
	合計	3	11				27	2		12	55
事故種別 市別		火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス欠及び 酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
救助人員	宗像市	2	8				15	1		8	34
	福津市	3	4				12	3		3	25
	管外										
	合計	5	12				27	4		11	59

月別救助出動件数

(令和5年中)

事故種別 月別	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス欠及び 酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計	前年
合計	3	23	1			39	2		19	87	86
1月		2				5	1		2	10	11
2月		4				3			2	9	2
3月		2				2				4	6
4月		2				2			3	7	2
5月		1								1	2
6月		2				1			1	4	5
7月		1				2			4	7	10
8月		2	1			6				9	7
9月	1					1			4	6	7
10月		3				6			1	10	10
11月		1				6	1		2	10	7
12月	2	3				5				10	17

過去10年の119番通報件数

年 別	災害等別 回線種別	火災	救急	救助	火災救急救 以外の災害	いたずら	間違い通報	その他	合 計
2014年中	固定電話	6	2,002	3	16	8	265	917	3,217
	IP電話	8	1,702	4	11	3	96	433	2,257
	携帯電話	33	1,877	22	47	6	404	754	3,143
	合 計	47	5,581	29	74	17	765	2,104	8,617
2015年中	固定電話	16	1,775	4	14	9	301	997	3,116
	IP電話	12	1,728	1	17	0	117	394	2,269
	携帯電話	40	2,127	26	45	4	395	840	3,477
	合 計	68	5,630	31	76	13	813	2,231	8,862
2016年中	固定電話	4	1,726	1	16	10	194	1,056	3,007
	IP電話	6	1,716	5	6	0	74	421	2,228
	携帯電話	37	2,450	25	47	1	379	799	3,738
	合 計	47	5,892	31	69	11	647	2,276	8,973
2017年中	固定電話	7	1,674	3	14	13	246	990	2,947
	IP電話	12	1,814	2	8	0	93	447	2,376
	携帯電話	44	2,829	28	64	4	503	883	4,355
	合 計	63	6,317	33	86	17	842	2,320	9,678
2018年中	固定電話	6	1,713	5	33	32	236	804	2,829
	IP電話	8	1,860	6	13	3	39	337	2,266
	携帯電話	60	3,154	49	83	4	221	787	4,358
	合 計	74	6,727	60	129	39	496	1,928	9,453
2019年中	固定電話	14	1,453	9	23	50	137	711	2,397
	IP電話	13	1,890	5	17	4	36	333	2,298
	携帯電話	105	3,256	54	96	11	158	949	4,629
	合 計	132	6,599	68	136	65	331	1,993	9,324
2020年中	固定電話	16	1,125	5	49	28	91	559	1,873
	IP電話	10	1,701	5	9	0	54	263	2,042
	携帯電話	73	3,035	42	92	2	171	927	4,342
	合 計	99	5,861	52	150	30	316	1,749	8,257
2021年中	固定電話	7	1,031	2	37	16	91	523	1,707
	IP電話	10	1,766	6	9	1	34	279	2,105
	携帯電話	84	3,560	42	63	7	163	927	4,846
	合 計	101	6,357	50	109	24	288	1,729	8,658
2022年中	固定電話	18	1,090	0	66	16	64	536	1,790
	IP電話	21	1,953	2	19	2	43	288	2,328
	携帯電話	122	4,477	79	150	5	208	984	6,025
	合 計	161	7,520	81	235	23	315	1,808	10,143
2023年中	固定電話	5	900	6	83	16	90	573	1,673
	IP電話	14	1,872	1	15	0	30	260	2,192
	携帯電話	107	4,766	64	111	20	331	1,406	6,805
	合 計	126	7,538	71	209	36	451	2,239	10,670

消防団の活動

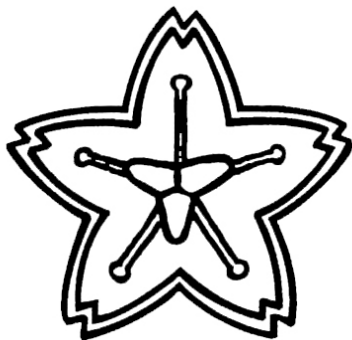
消防団は、郷土愛の精神と自らの郷土は、自らが守るという自主防災意識の高い人々により組織され、地域住民の尊い生命、財産を火災や台風・洪水などの災害から守るため日夜活躍しています。

勇 気

宗 像 市 消 防 団

福 津 市 消 防 団

団 結



迅 速

令 和 5 年 度 主 な 活 動

6月



宗像地区合同水防訓練

- 福津市消防団機関員訓練(5月)
- 宗像市消防団全団員訓練(5月)
- 宗像地区合同水防訓練(6月)
- 宗像市合同分団訓練(6～1月)
- 宗像市消防団中継訓練(10月)
- 秋季火災予防週間防火啓発パレード(11月)
- 福津市消防団・署火災防ぎょ訓練(11月)
- 宗像市消防団ブラインド訓練(11月)
- 年末夜警(12月)
- 宗像地区消防出初式(1月)
- 文化財防ぎょ訓練(1月)
- 団・署合同林野火災防ぎょ訓練(3月)

5月



福津市消防団機関員訓練

11月



宗像市消防団ブラインド訓練

1月



宗像地区消防出初式

消防団の組織

(令和6年4月1日現在)

・宗像市消防団

団長 松本 真誠

分 団 名		区 域	実 員	
団 長	副 団 長	本部分団	宗像市全域	22人 ※
		第1分団	吉武地区	30人
		第2分団	赤間地区	33人
		第3分団	田久・土穴地区	27人
		第4分団	自由ヶ丘地区	25人
		第5分団	河東・赤間西地区	43人
		第6分団	南郷(南部)地区	29人
		第7分団	南郷(北部)地区	27人
		第8分団	東郷地区	28人
		第9分団	田熊・用山・村山田地区	30人
		第10分団	日の里地区	26人
	副 団 長	第11分団	田島地区	31人
		第12分団	神湊地区	50人
		第13分団	池野地区	28人
		第14分団	岬地区	21人
		第15分団	大島一円	28人
		第16分団	大島一円	27人
		宗像市・県総合庁舎 合同分団	宗像市全域	25人

※本部分団には、団長、副団長及び女性班を含む。

消防団の組織

(令和6年4月1日現在)

・福津市消防団

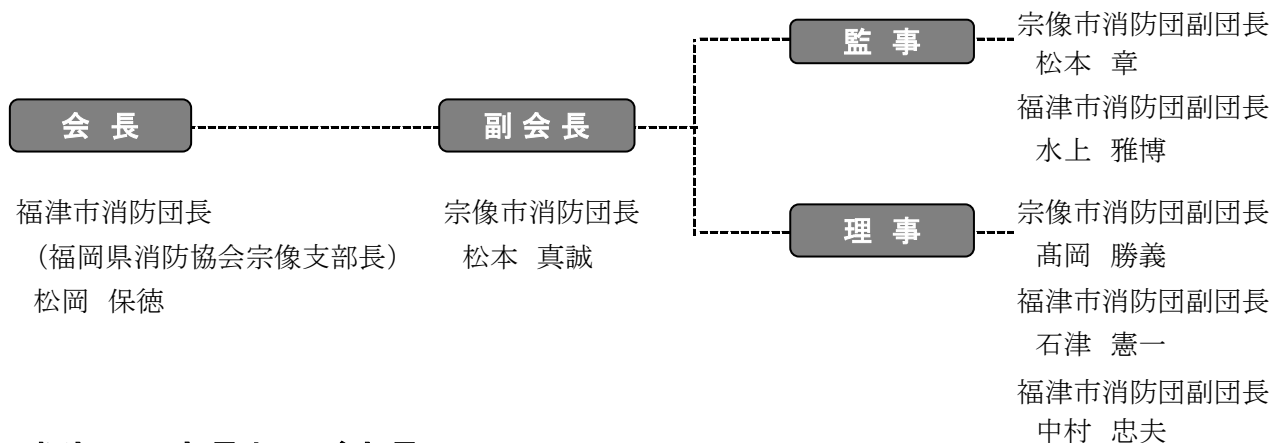
団長 松岡 保徳

	分 団 名	区 域	実 員	
副団長 副団長 副団長 副団長 副団長 副団長 副団長 副団長 副団長 副団長 副団長 副団長 副団長	本部分団	福津市全域	13人	※
	第1分団	津屋崎地区各区・渡区の区域	31人	
	第2分団	宮司地区各区・在自区、宮司ヶ丘地区、五反田区、星ヶ丘区の区域	21人	
	第3分団	須多田区、大石区・生家区、塩浜区、梅津区の区	20人	
	第4分団	奴山区、桂区、西東区、勝浦浜区、勝浦松原区の区域	18人	
	第5分団	四角区、両谷区、光陽台1区・2区・3区・南区、日蔭野1～6区の区域	26人	
	第6分団	緑町、南町、本町区、昭和区、西福間1区、大和1区・2区、古町区、福間松原区、福間5区、日蔭野1～6区の区域	29人	
	第7分団	花見1区・2区・3区・4区、原町1区・2区・3区、有弥の里1区・2区、日蔭野1～6区の区域	17人	
	第8分団	手光区、通り堂区、光陽台4区・5区・6区、小竹区、冠区、東福間1～11区、高平区の区域	11人	
	第9分団	津丸区、久末区、若木台1～6区、桜川区、あけぼの区、八波区の区域	20人	
	第10分団	上西郷区、内殿区、舍利蔵区、日蔭野1～6区の区域	24人	
	第11分団	畦町区、本木区の区域	17人	
	第12分団	福間沿岸	6人	
	第13分団	津屋崎沿岸	20人	

※本部分団には、団長、副団長及び女性班を含む。

福岡県消防協会 宗像地区連絡協議会の組織

（令和6年4月1日現在）



消防団の定員および実員

（令和6年4月1日現在）

市別 団員	宗 像 市	福 津 市	計
定 員	634	362	996
実 員	530	273	803

消防団の出動状況

（令和5年中）

市別 区分	火 災 件 数	消 防 機 械 出 動 件 数	出 動 延 人 員
宗 像 市	29	22	687
福 津 市	15	13	559
合 計	44	35	1,246

消防ポンプ車等の装備状況

（令和6年4月1日現在）

市別 区分	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小 型 動 力 ポ ン プ	計
宗 像 市	16	0	6	22
福 津 市	12	0	8	20
合 計	28	0	14	42



令和5年度 更新車両
高規格救急自動車